

平成28年度

18歳選挙権に関する意識調査

平成29年6月

福井県選挙管理委員会

## 設問一覧

- 問1 選挙権年齢が18歳以上に引き下げられて良かったと思いますか。(単一回答)  
【高校生・大学生共通】・・・1
- 問2 (選挙権年齢が18歳以上に引き下げられて「良かった」、「どちらかといえば良かった」と回答した人に対して)なぜ良かったと思いますか。  
(複数回答)【高校生・大学生共通】・・・2
- 問3 (選挙権年齢が18歳以上に引き下げられて「良くない」、「どちらかといえば良くない」と回答した人に対して)なぜ良くないと思いますか。(複数回答)  
【高校生・大学生共通】・・・4
- 問4 現在の住まいはどちらですか。(単一回答)【大学生のみ】・・・5
- 問5 (自宅以外に住んでいる人に対して)実家など以前住んでいた市区町村から、現在住んでいる市町に住民票を移していますか。(単一回答)【大学生のみ】・・・6
- 問6 (住民票を移している人に対して)住民票を移した理由は何ですか。(複数回答)  
【大学生のみ】・・・7
- 問7 (住民票を移していない人に対して)住民票を移していない理由は何ですか。  
(複数回答)【大学生のみ】・・・9
- 問8 7月10日(日)に行われた参議院選挙で、現在住んでいる市町で投票するには、①現在の住所に住民票があること、②住民票を移してから3ヶ月以上住んでいることが必要でした。あなたは、現在住んでいる市町で投票することができましたか。(現在の住所に投票所入場券が送付されましたか)(単一回答)【大学生のみ】・・・10
- 問9 選挙では、遠隔地に住んでいること等により投票日当日に投票所へ行くことができない方のために、投票用紙等を郵便で取り寄せ、現在の住所地で投票できる「不在者投票」という制度がありますが、あなたはこの制度を知っていますか。また、具体的な投票方法についてはどうですか。(単一回答)【大学生のみ】・・・11
- 問10 (不在者投票について、制度も投票方法も知っている人と回答した人に対して)不在者投票制度について、どのような方法で知りましたか。(単一回答)【大学生のみ】・・・13
- 問11 7月10日に行われた参議院選挙では投票に行きましたか。(期日前投票、不在者投票を含む)(単一回答)【高校生・大学生共通】・・・15
- 問12 (投票に行った人に対して)参議院選挙の投票は誰と行きましたか。(単一回答)  
【高校生・大学生共通】・・・21
- 問13 (投票に行った人に対して)あなたが投票に行ったのはどういう気持ちからですか。  
(複数回答)【高校生・大学生共通】・・・22

- 問 1 4 (投票に行かなかった人に対して) あなたが投票に行かなかったのはなぜですか。  
(複数回答)【高校生・大学生共通】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 5
- 問 1 5 (投票に行かなかった人に対して) 次の選挙の時に、どのような状況だったら投票に行こうと思いますか。(複数回答)【高校生・大学生共通】・・・・・・・・・・ 2 7
- 問 1 6 選挙では、投票日当日に用事があって投票所に行くことができない方のために、期日前投票という制度があり、投票日の前にあらかじめ指定された期日前投票所において投票することができます。  
また、遠隔地に住んでいること等により投票日当日に投票所に行くことができない方のために、不在者投票という制度があり、投票用紙等を郵便で取り寄せて、現在の住所地で、あらかじめ指定された不在者投票所において投票することができます。  
あなたは、次のどの条件が満たされれば投票に行きますか(または投票に行きやすくなると思いますか)。(複数回答)【大学生のみ】・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 9
- 問 1 7 次の選挙(または初めての選挙)では投票に行きますか。(単一回答)  
【高校生・大学生共通】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 0
- 問 1 8 国や地方の政治にどの程度関心がありますか。(単一回答)  
【高校生・大学生共通】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 3
- 問 1 9 自分自身の生活と政治とはどの程度関係していると思いますか。(単一回答)  
【高校生・大学生共通】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 5
- 問 2 0 ニュースや新聞等を通じて、政治や社会問題が理解できていますか。(単一回答)  
【高校生・大学生共通】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 7
- 問 2 1 政治や政策について家族や友人と話すことはありますか。(単一回答)  
【高校生・大学生共通】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 8
- 問 2 2 あなたは今までに選挙に関する授業や選挙出前講座(出前塾)を受けたことがありますか。また、受けたことがある場合、初めて受けたのはいつですか。(単一回答)  
【高校生・大学生共通】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 0
- 問 2 3 投票先を決める際に、どれを参考にしました(しよう)と思いますか。  
(複数回答: 3つ以内)【高校生・大学生共通】・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 2
- 問 2 4 投票先を決める際に、重視することはなんですか。(複数回答: 3つ以内)  
【高校生・大学生共通】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 4
- 問 2 5 高校生や大学生、短大生が政治や選挙に関心を持つためには、何をすればよいと思いますか。(複数回答)【高校生・大学生共通】・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 6
- 問 2 6 参議院選挙で投票を呼びかけるため、選挙管理委員会等が行った次のPR活動のうち、あなたの印象に残っているものはどれですか。  
(複数回答)【高校生・大学生共通】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 8

## 調査結果

### 問1 選挙権年齢が18歳以上に引き下げられて良かったと思いますか。(単一回答) 【高校生・大学生共通】

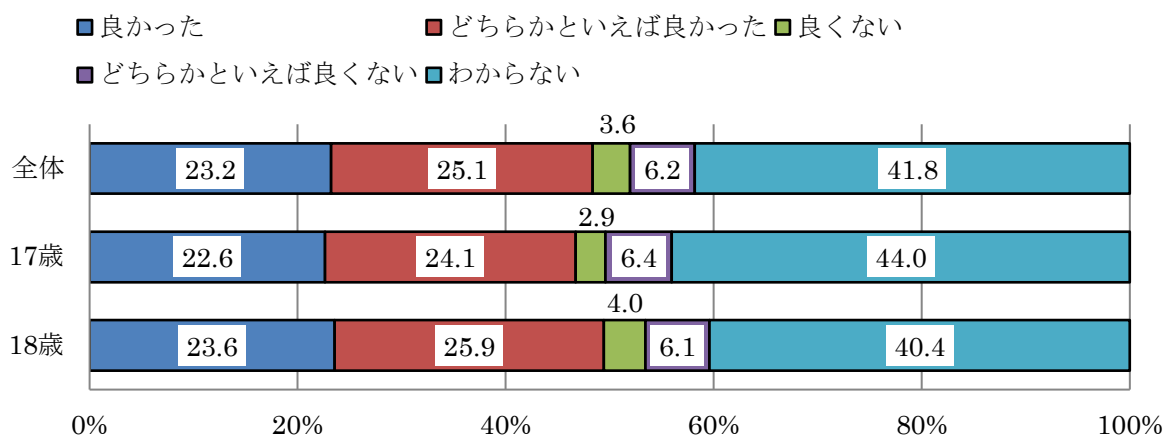
#### (1) 高校3年生

全体の23.2%の人が「良かった」と回答しており、「どちらかといえば良かった」まで含めると48.3%と約半数の人が好意的に受け止めている。「よかった層」、「どちらかといえばよかった層」を年齢別でみると、いずれも18歳の方が若干高くなっている。

一方、3.6%の人が「良くない」と回答しており、「どちらかといえば良くない」まで含めると9.8%の人が否定的に捉えている。また、41.8%の人が「わからない」と回答している。

調査対象者が異なるものの、平成27年度に県内高校生を対象に実施した「18歳選挙権に関する意識調査」(以下、「前回調査」という。)の中でも選挙権年齢の引き下げの是非について尋ねている。この時は全体の17.6%の人が「良かった」と回答しており、「どちらかといえば良かった」まで含めると好意的に受け止めているのは42.1%であり、今回の調査の数値は、前回調査をいずれも上回っており、肯定的に捉える層が増加している。

#### 選挙権年齢が18歳以上に引き下げられて良かったと思いますか。(単一回答)



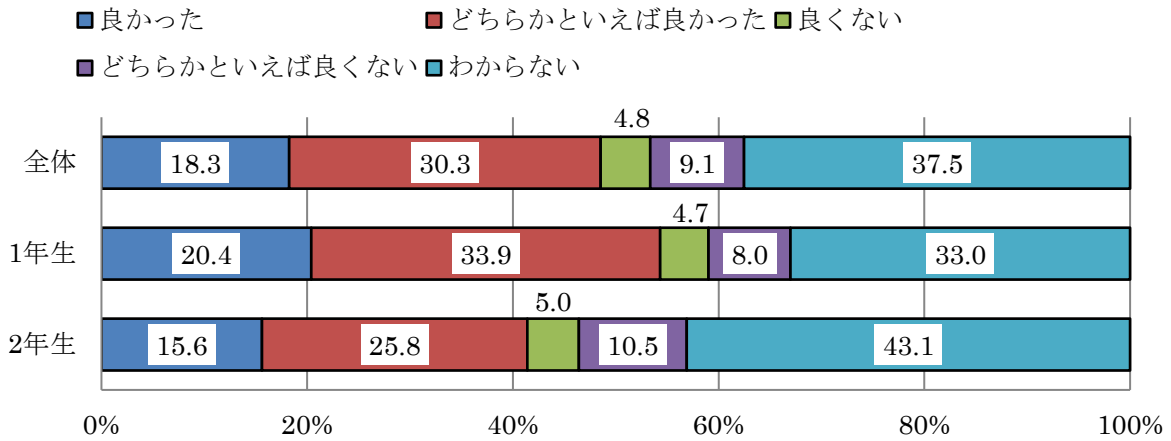
#### (2) 大学・短大1、2年生

##### ア 全体、学年別

全体の18.3%の人が「良かった」と回答しており、「どちらかといえば良かった」まで含めると48.6%と約半数の人が好意的に受け止めている。「よかった層」、「どちらかといえばよかった層」を学年別でみると、いずれも1年生が高くなっている。

一方、4.8%の人が「良くない」と回答しており、「どちらかといえば良くない」まで含めると13.9%の人が否定的に捉えている。否定的に捉える層は、学年が上がるにつれて増加している。

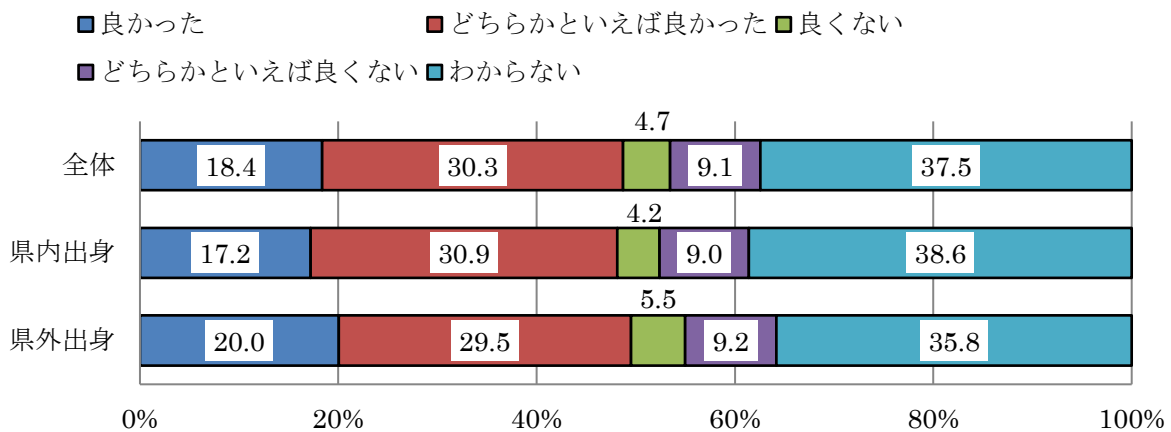
選挙権年齢が18歳以上に引き下げられて良かったと思いますか。（単一回答）



イ 出身地別

出身地別で項目ごとに大きな違いはみられない。

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられて良かったと思いますか。（単一回答）



**問2** （選挙権年齢が18歳以上に引き下げられて「良かった」、「どちらかといえば良かった」と回答した人に対して）なぜ良かったと思いますか。

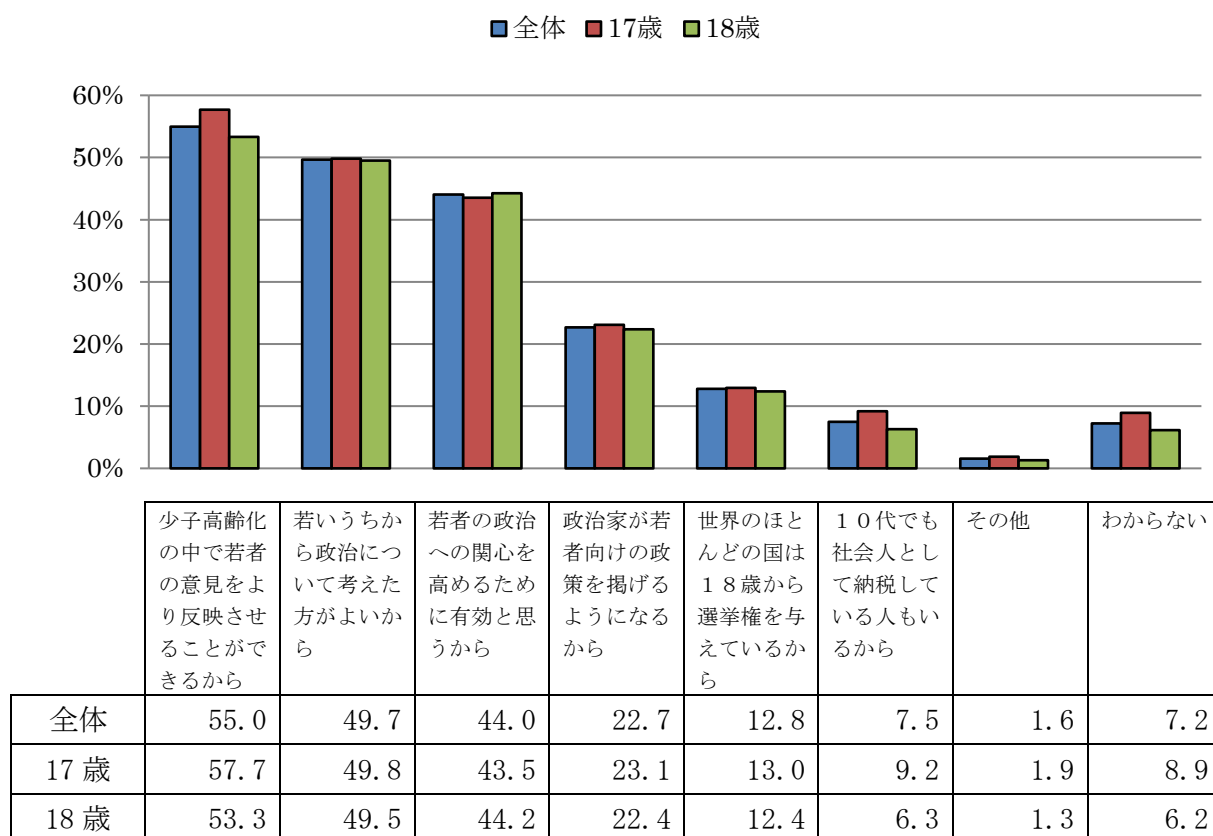
（複数回答）【高校生・大学生共通】

前問で選挙権年齢が18歳以上に引き下げられて「良かった」または「どちらかといえば良かった」と回答した人（高校1,987人、大学1,082人）に対して、その賛成理由を聞いたところ、全体で選択率が最も高かったのは、高校3年生、大学・短大1、2年生ともに、「少子高齢化の中で若者の意見をより反映させることができるから」（高校55.0%、大学55.0%）、次いで「若いうちから政治について考えた方がよいから」（高校49.7%、大学53.9%）、「若者の政治への関心を高めるために有効と思うから」（高校44.0%、大学45.8%）となった。

賛成理由として選択率の高かったものの順位は、前回調査時と同一であった。

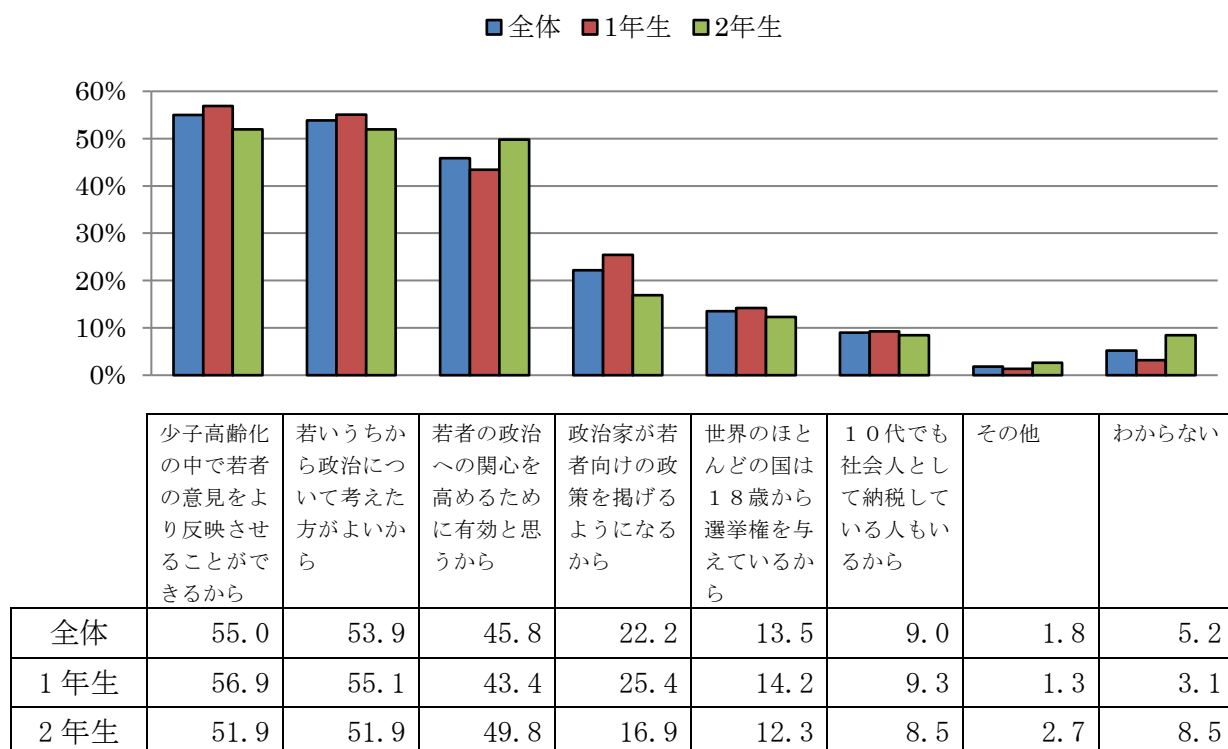
(1) 高校3年生

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられてなぜ良かったと思いますか。(複数回答)



(2) 大学・短大1、2年生

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられてなぜ良かったと思いますか。(複数回答)



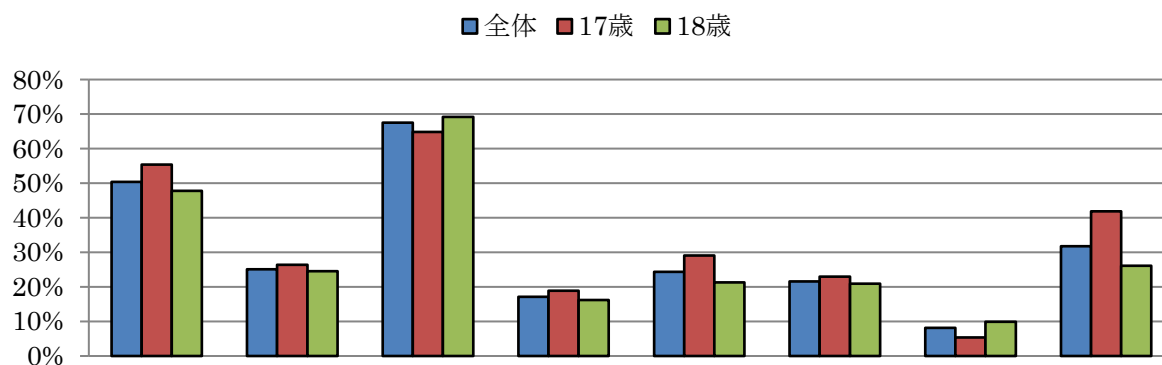
**問3** (選挙権年齢が18歳以上に引き下げられて「良くない」、「どちらかといえば良くない」と回答した人に対して) なぜ良くないと思いますか。(複数回答)

**【高校生・大学生共通】**

問1で、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられて「良くない」または「どちらかといえば良くない」と回答した人(高校403人、大学311人)に対して、その反対理由を聞いたところ、全体で選択率が最も高かったのは、高校3年生、大学・短大1、2年生ともに、「18歳の時点では世の中のことが理解できていないから」(高校67.5%、大学65.3%)で、次いで「面白半分に、または適当に投票する人が増えるから」(高校50.4%、大学45.7%)となった。3番目に選択率が高かったのは高校3年生が「わからない」(31.8%)、大学・短大1、2年生が「メディアやネット情報に左右されやすい年代に選挙権を与えるのは危険だから」、「18歳以上に引き下げても若い人の意見は政治に反映されないと思うから」(ともに25.7%)となった。

**(1) 高校3年生**

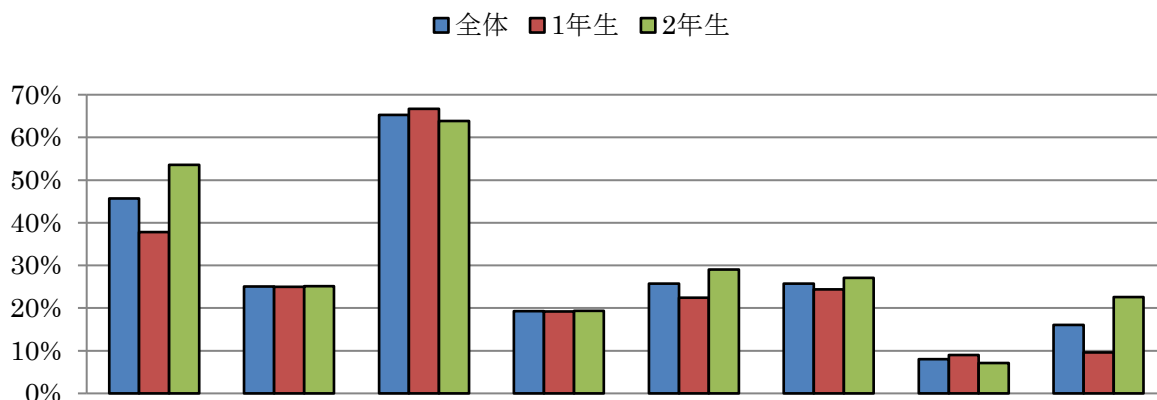
選挙権年齢が18歳以上に引き下げられてなぜ良くないと思いますか。(複数回答)



	面白半分に、または適当に投票する人が増えるから	まずは20歳代の投票率を向上させる方が先だから	18歳の時点では世の中のことが理解できていないから	受験勉強やアルバイト、部活動などで忙しく投票に行けないと思うから	メディアやネット情報に左右されやすい年代に選挙権を与えるのは危険だから	18歳以上に引き下げても若い人の意見は政治に反映されないと思うから	その他	わからない
全体	50.4	25.1	67.5	17.1	24.3	21.6	8.2	31.8
17歳	55.4	26.4	64.9	18.9	29.1	23.0	5.4	41.9
18歳	47.8	24.5	69.2	16.2	21.3	20.9	9.9	26.1

(2) 大学・短大1、2年生

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられてなぜ良くないと思いますか。(複数回答)



	面白半分に、または適当に投票する人が増えるから	まずは20歳代の投票率を向上させる方が先だから	18歳の時点では世の中のことが理解できていないから	受験勉強やアルバイト、部活動などで忙しく投票に行けないと思うから	メディアやネット情報に左右されやすい年代に選挙権を与えるのは危険だから	18歳以上に引き下げても若い人の意見は政治に反映されないと思うから	その他	わからない
全体	45.7	25.1	65.3	19.3	25.7	25.7	8.0	16.1
1年生	37.8	25.0	66.7	19.2	22.4	24.4	9.0	9.6
2年生	53.5	25.2	63.9	19.4	29.0	27.1	7.1	22.6

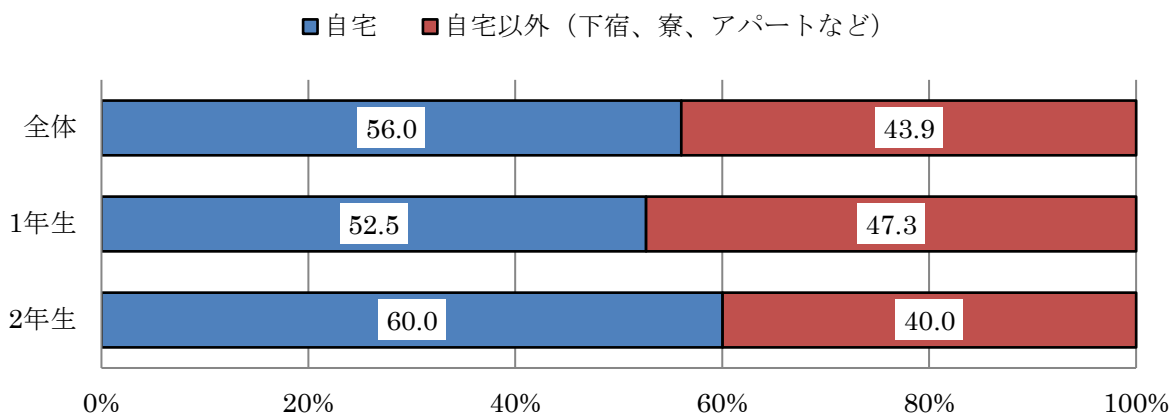
問4 現在の住まいはどちらですか。(単一回答)【大学生のみ】

(1) 大学・短大1、2年生

ア 全体

「自宅」は56.0%、「自宅以外」は43.9%であった。

現在の住まいはどちらですか。(単一回答)

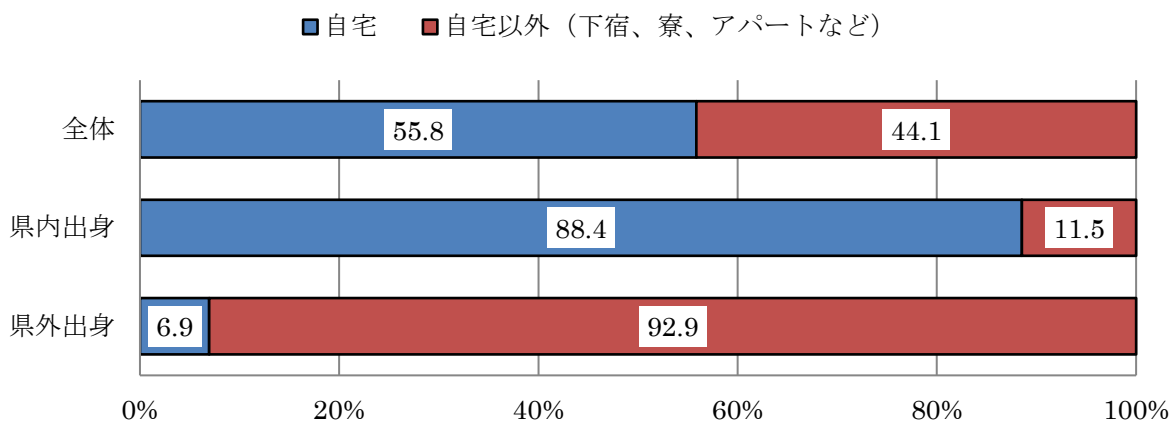




## イ 出身地別

県内出身は「自宅」が88.4%、県外出身は「自宅以外」が92.9%であった。

現在の住まいはどちらですか。(単一回答)



**問5** (自宅以外に住んでいる人に対して) 実家など以前住んでいた市区町村から、現在住んでいる市町に住民票を移していますか。(単一回答)【大学生のみ】

### (1) 大学・短大1、2年生

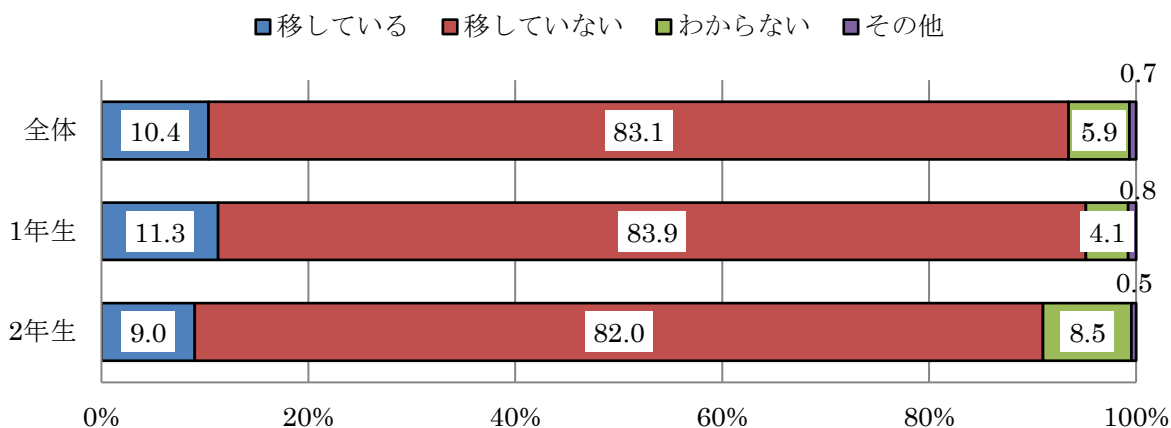
#### ア 全体

前問で「自宅以外に住んでいる」と回答した人に住民票の異動について聞いたところ、「移している」は10.4%に留まり、「移していない」が83.1%で半数を超えて最も高く、「わからない」が5.9%であった。

#### イ 学年別

「移している」は1年生(11.3%)が2年生(9.0%)より約2ポイント高い。

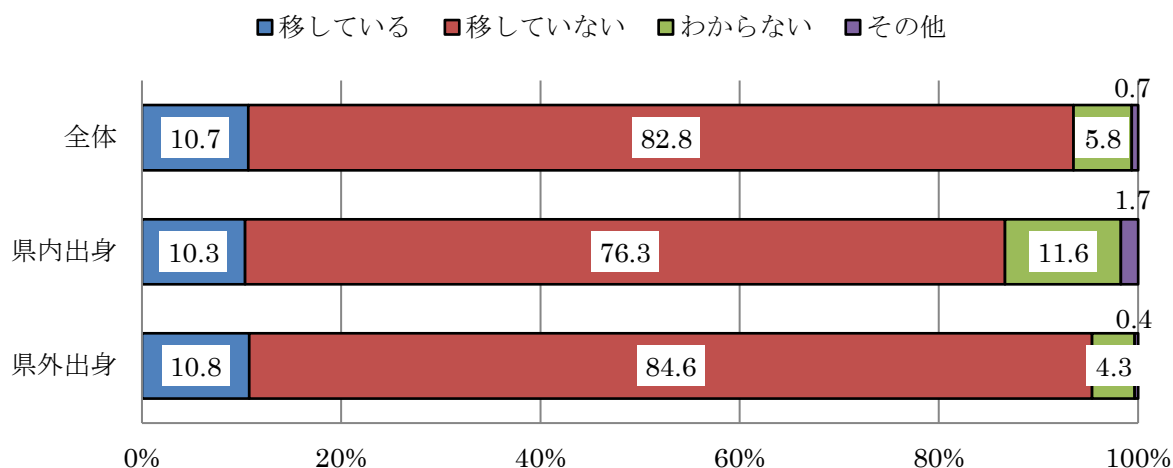
実家など以前住んでいた市区町村から、現在住んでいる市町に住民票を移していますか。(単一回答)



## ウ 出身地別

「移していない」は県外出身（84.6%）が県内出身（76.3%）より約8ポイント高い。

実家など以前住んでいた市区町村から、現在住んでいる市町に住民票を移していますか。（単一回答）



問6 （住民票を移している人に対して）住民票を移した理由は何ですか。（複数回答）

【大学生のみ】

### （1）大学・短大1、2年生

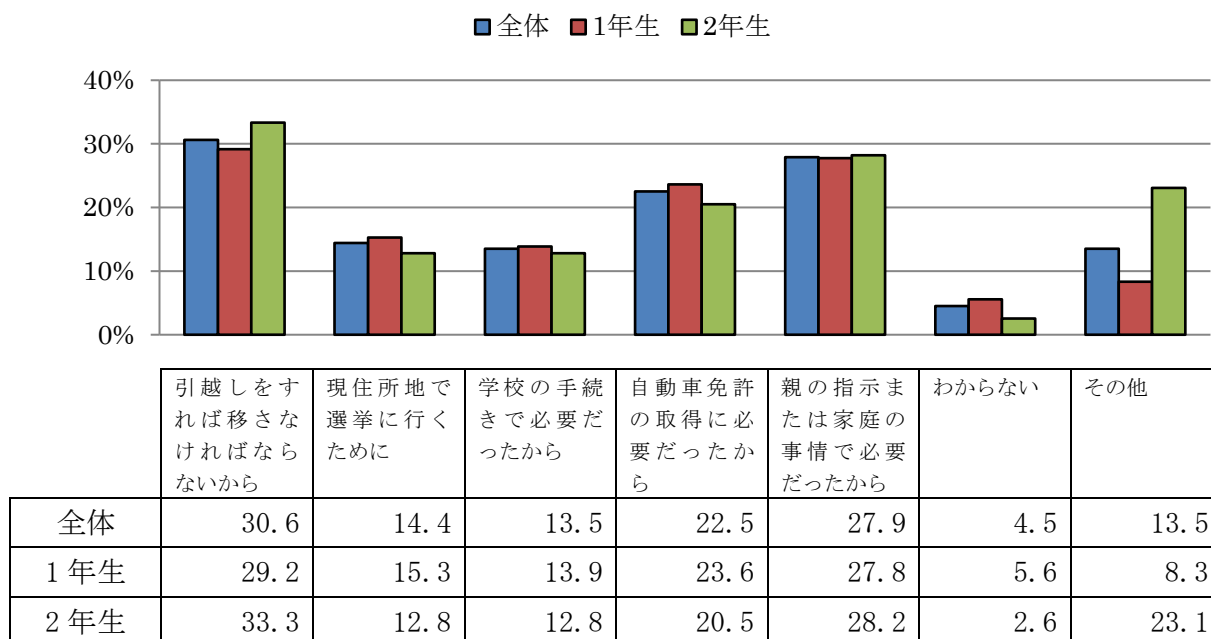
#### ア 全体

前問で「住民票を移している」と回答した人（111人）に住民票を移した理由について聞いたところ、上位3つは「引越しをすれば移さなければならないから」（30.6%）、「親の指示または家庭の事情で必要だったから」（27.9%）、「自動車免許の取得に必要だったから」（22.5%）であった。

#### イ 学年別

学年別でほとんどの項目で大きな違いはないが、2年生の「その他」の選択率（23.1%）が、1年生の選択率（8.3%）に比べて約15ポイント高い。

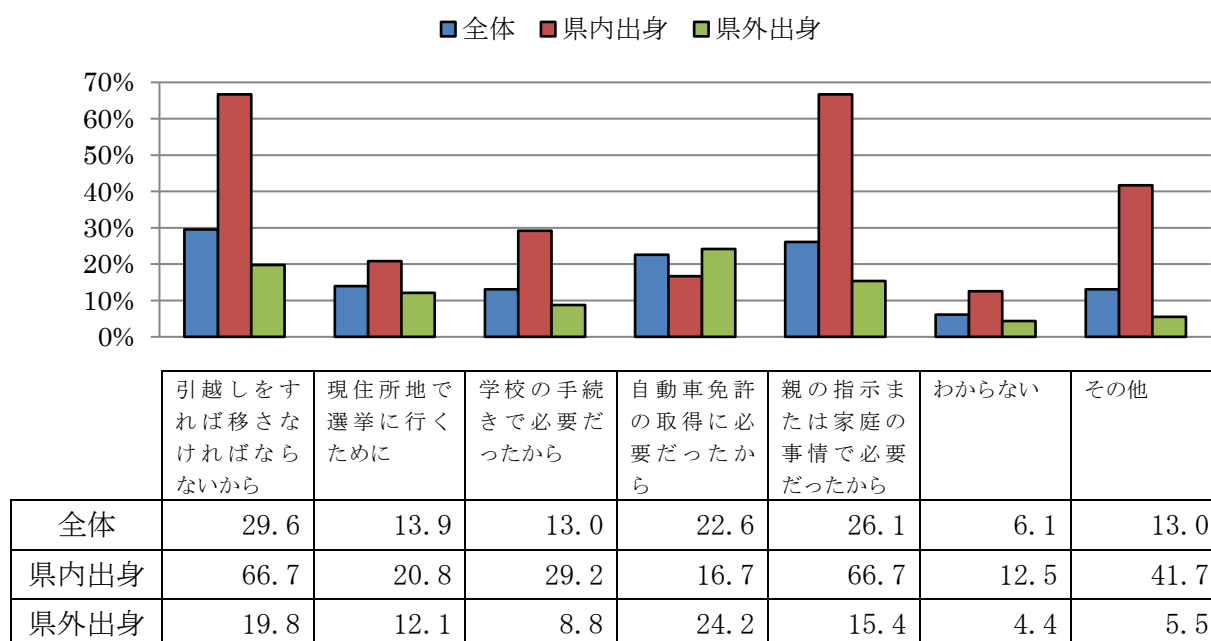
住民票を移した理由は何ですか。(複数回答)



ウ 出身地別

出身地別では大きな違いがみられた。全体の2位である「親の指示または家庭の事情で必要だったから」は県内出身(66.7%)が県外出身(15.4%)より約50ポイント高く、全体の1位である「引越しをすれば移さなければならぬから」は県内出身(66.7%)が県外出身(19.8%)より約45ポイント高い。ほとんどの項目で県内出身の選択率が高いが、「自動車免許の取得に必要だったから」のみ県外出身(24.2%)が県内出身(16.7%)より約8ポイント高い。

住民票を移した理由は何ですか。(複数回答)



**問7** (住民票を移していない人に対して) 住民票を移していない理由は何ですか。  
(複数回答)【大学生のみ】

(1) 大学・短大1、2年生

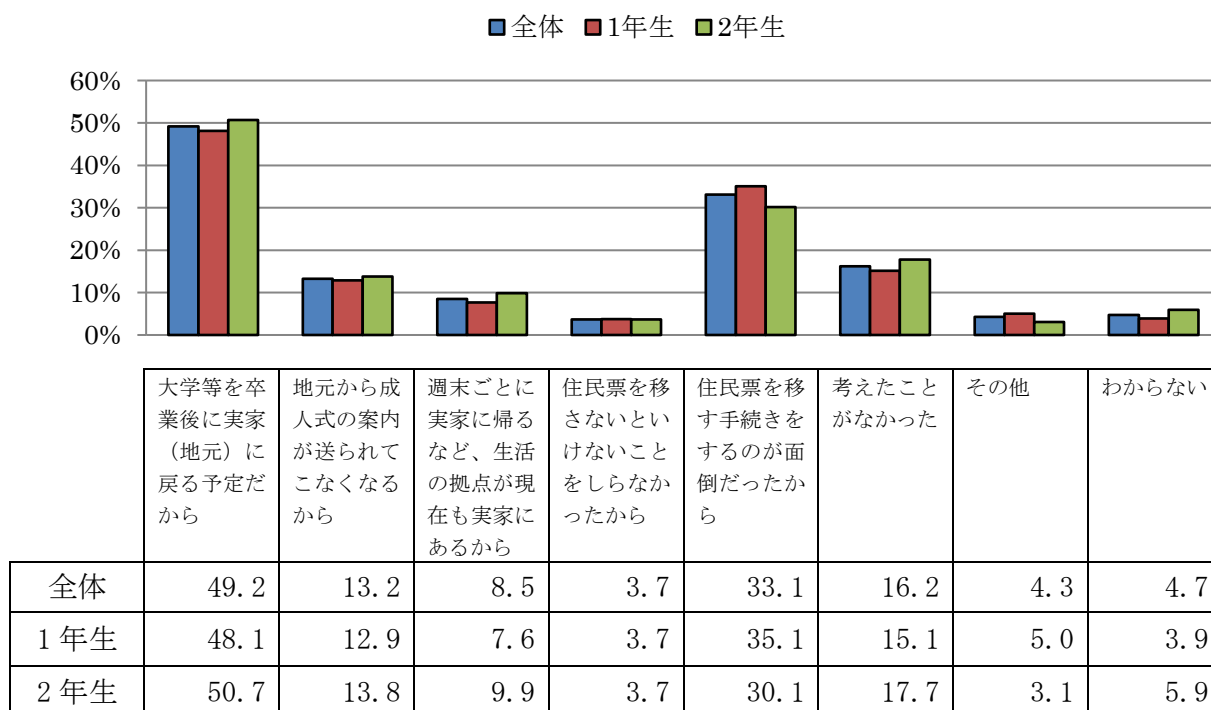
ア 全体

問5で「住民票を移していない」と回答した人(891人)に住民票を移していない理由を聞いたところ、上位3つは「大学等を卒業後に実家(地元)に戻る予定だから」(49.2%)、「住民票を移す手続きをするのが面倒だったから」(33.1%)、「考えたことがなかった」(16.2%)であった。

イ 学年別

学年別で項目ごとに大きな違いはみられない。

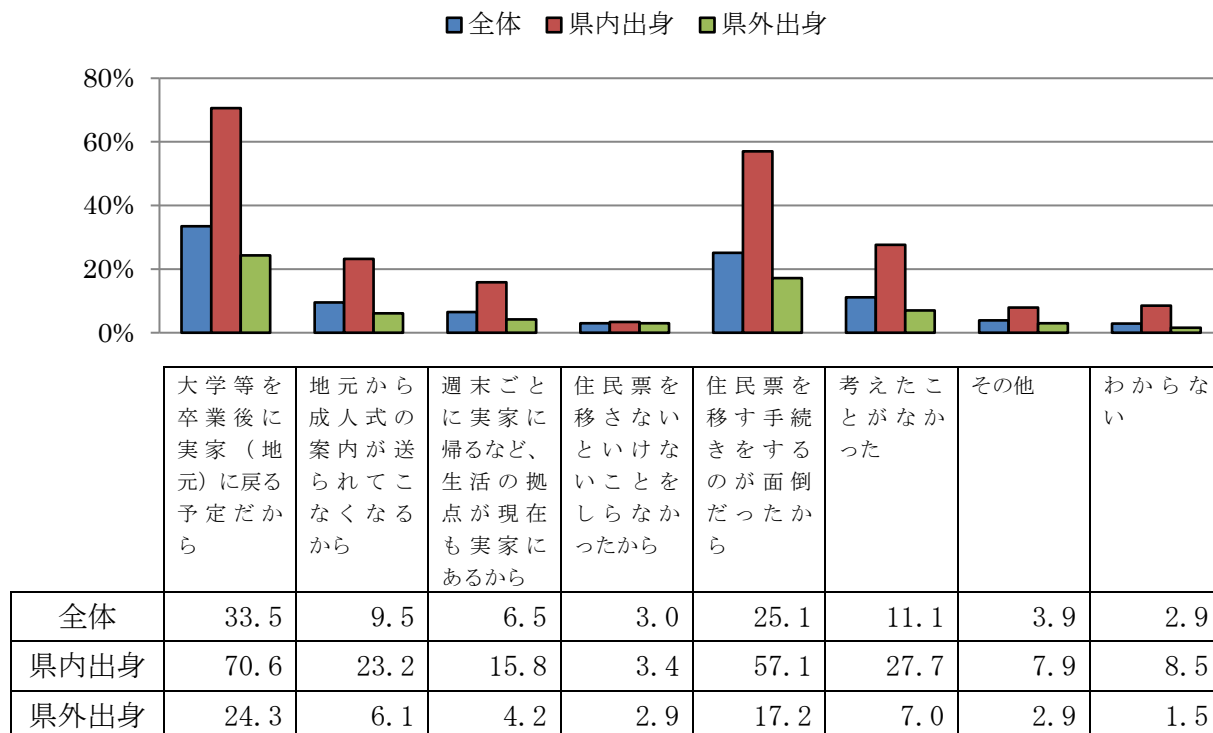
住民票を移していない理由は何ですか。(複数回答)



ウ 出身地別

出身地別では大きな違いがみられた。全体の1位である「大学等を卒業後に実家(地元)に戻る予定だから」は県内出身(70.6%)が県外出身(24.3%)より約45ポイント高く、全体の2位である「住民票を移す手続きをするのが面倒だったから」は県内出身(57.1%)が県外出身(17.2%)より約40ポイント高い。

住民票を移していない理由は何ですか。(複数回答)



問8 7月10日(日)に行われた参議院選挙で、現在住んでいる市町で投票するには、①現在の住所に住民票があること、②住民票を移してから3ヶ月以上住んでいることが必要でした。あなたは、現在住んでいる市町で投票することができましたか。(現在の住所に投票所入場券が送付されましたか)(単一回答)【大学生のみ】

(1) 大学・短大1、2年生

ア 全体

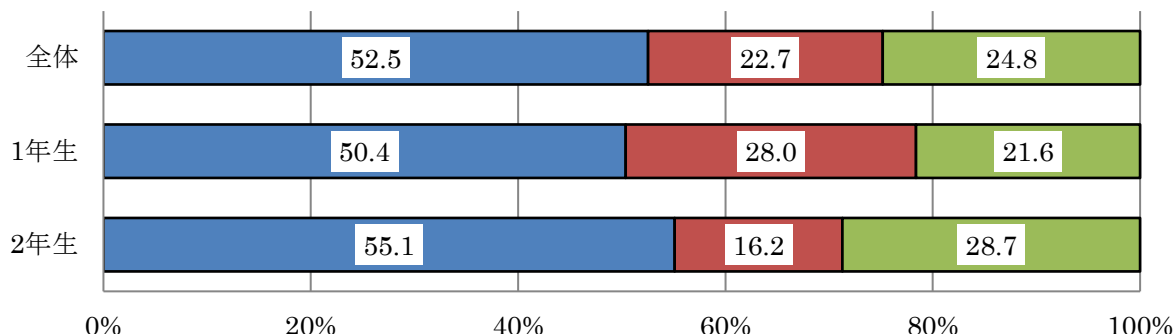
全体で「現在住んでいる市町で投票することができた」のは52.5%で半数を超えた。次いで「わからない」(24.8%)、「実家など、以前に住んでいた市区町村で投票することができた」(22.7%)であった。

イ 学年別

「現在住んでいる市町で投票することができた」のは学年が上がるにつれ増加し(1年生50.4% < 2年生55.1%)、逆に「実家など、以前に住んでいた市区町村で投票することができた」は学年が上がるにつれ減少する(1年生28.0% > 2年生16.2%)。

あなたは、現在住んでいる市町で投票することができましたか。(単一回答)

- 現在住んでいる市町で投票することができた (現在の住所に投票所入場券が送付された)
- 実家など、以前に住んでいた市区町村で投票することができた (現在の住所には投票所入場券が送付されなかった)
- わからない

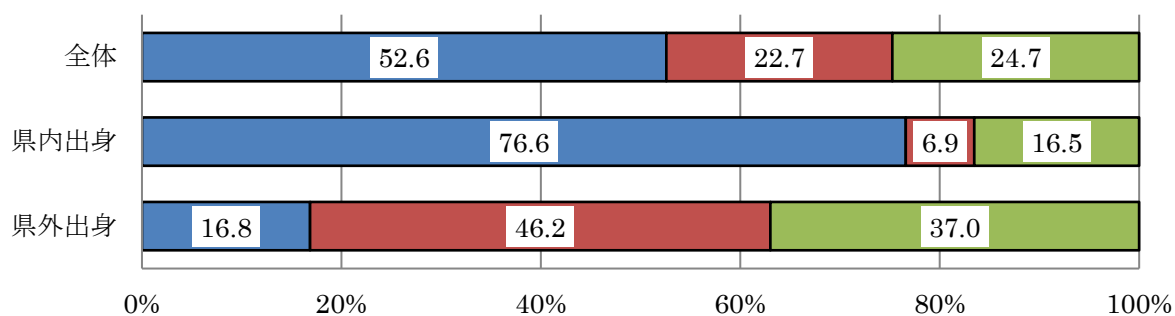


**ウ 出身地別**

出身地別では大きな違いが見られた。「現在住んでいる市町で投票することができた」のは県内出身が 76.6%であるのに対し、県外出身では 16.8%に留まる。逆に「実家など、以前に住んでいた市区町村で投票することができた」は県外出身で 46.2%、県内出身で 6.9%であった。

あなたは、現在住んでいる市町で投票することができましたか。(単一回答)

- 現在住んでいる市町で投票することができた (現在の住所に投票所入場券が送付された)
- 実家など、以前に住んでいた市区町村で投票することができた (現在の住所には投票所入場券が送付されなかった)
- わからない



**問9** 選挙では、遠隔地に住んでいること等により投票日当日に投票所へ行くことができない方のために、投票用紙等を郵便で取り寄せ、現在の住所地で投票できる「不在者投票」という制度がありますが、あなたはこの制度を知っていますか。また、具体的な投票方法についてはどうですか。(単一回答)【大学生のみ】

## (1) 大学・短大1、2年生

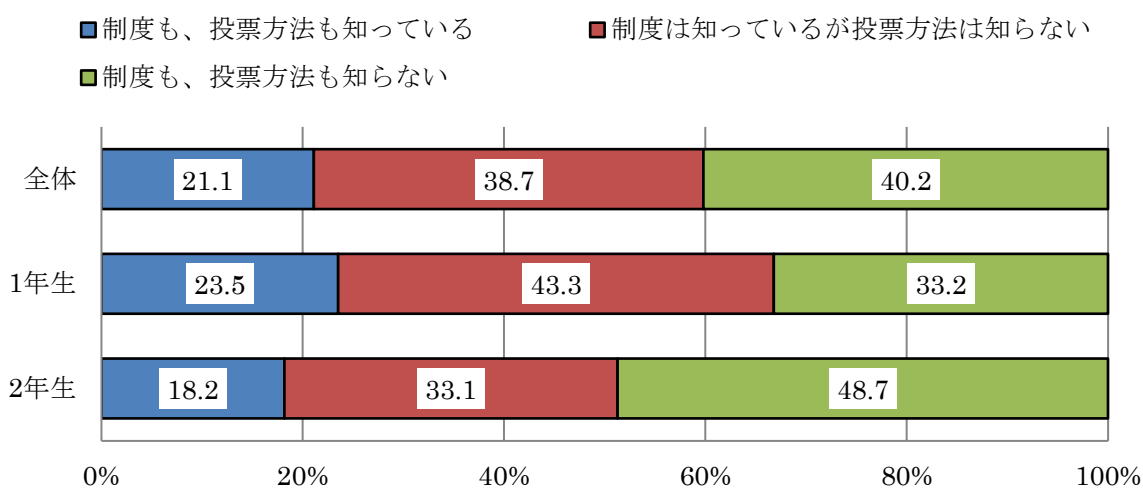
### ア 全体

調査対象者全員に不在者投票制度の認知状況を聞いたところ、「制度も、投票方法も知っている」が21.1%、「制度は知っているが投票方法は知らない」が38.7%で、59.8%が不在者投票制度を知っているが、具体的な投票方法まで知っていたのは、不在者投票制度を知っていた者のうちの35%に留まっている。また「制度も、投票方法も知らない」が40.2%にのぼることから、今まで以上に不在者投票の制度および投票方法の周知を進めていく必要がある。

### イ 学年別

不在者投票制度の認知度（「制度も、投票方法も知っている」、「制度は知っているが投票方法は知らない」の合計）は学年が上がるにつれ減少（1年生66.8% > 2年生51.3%）し、「制度も投票方法も知らない」は学年が上がるにつれ増加（1年生33.2% < 2年生48.7%）する。

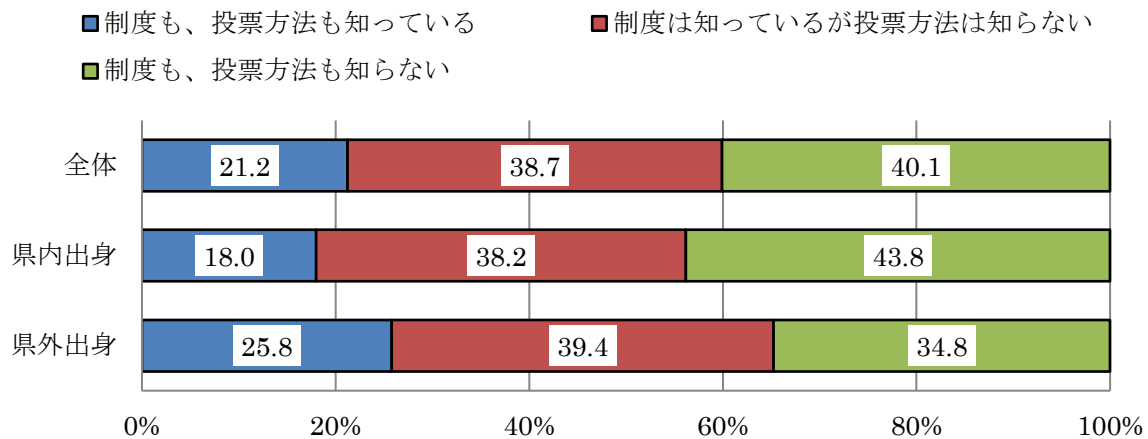
「不在者投票」の制度を知っていますか。また、具体的な投票方法についてはどうですか。（単一回答）



### ウ 出身地別

不在者投票制度の認知度（「制度も、投票方法も知っている」、「制度は知っているが投票方法は知らない」の合計）は、県外出身（65.2%）が県内出身（56.2%）より9ポイント高い。

「不在者投票」の制度を知っていますか。また、具体的な投票方法についてはどうですか。(単一回答)



**問 1 0** (不在者投票について、制度も投票方法も知っていると回答した人に対して) 不在者投票制度について、どのような方法で知りましたか。(単一回答)【大学生のみ】

(1) 大学・短大1、2年生

ア 全体

前問で「不在者投票について、制度も投票方法も知っている」と回答した人に知った方法について聞いたところ、「親・大学等の先生から聞いた」が30.9%で最も高く、次いで「テレビ、ラジオ」(17.9%)、「高校の授業で習った」(11.6%)であった。

「友人・知人から聞いた」が6.8%に留まっていることから、同じ人づてに聞くにしても同年代の者より、自分より年長の者から情報を得ていたことが分かる。

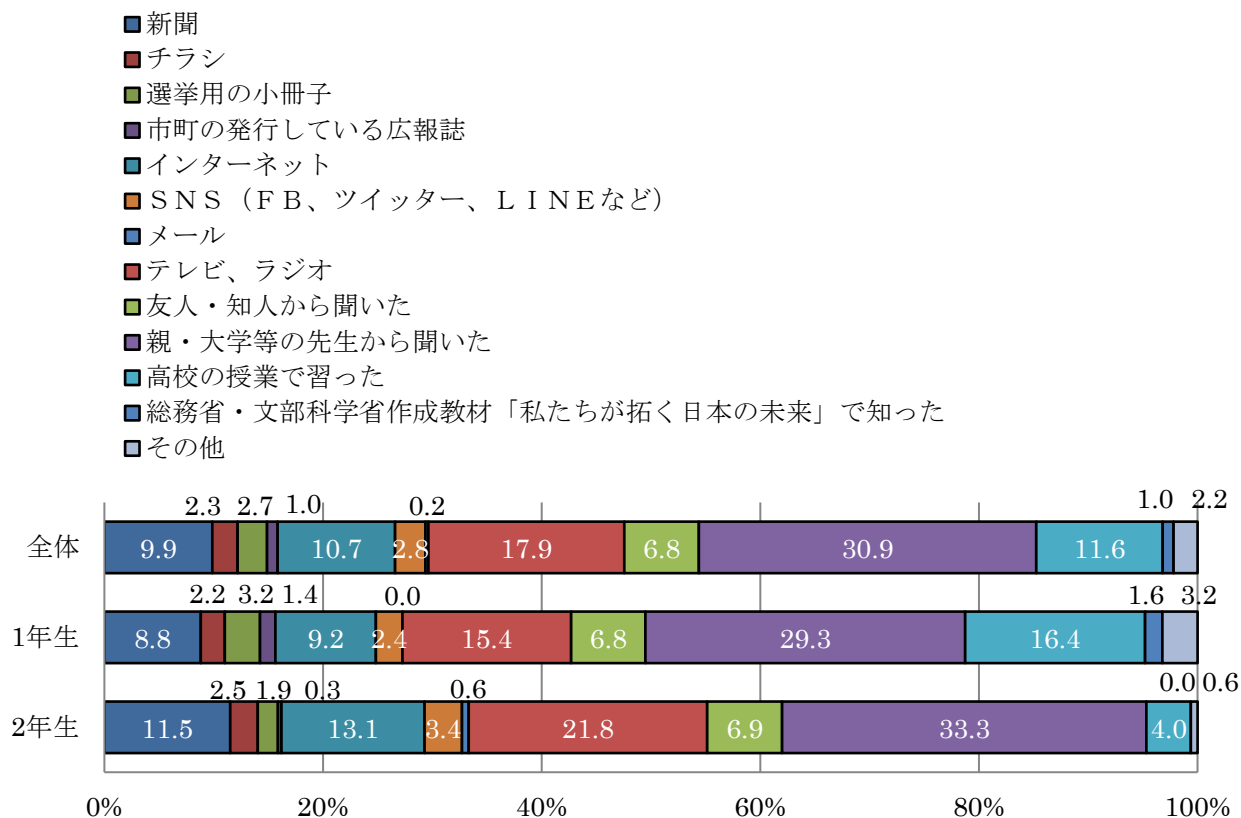
①親・大学等の先生から聞いた	30.9%
②テレビ、ラジオ	17.9%
③高校の授業で習った	11.6%
④インターネット	10.7%
⑤新聞	9.9%
⑥友人・知人から聞いた	6.8%
⑦SNS (FB、ツイッター、LINE など)	2.8%
⑧選挙用の小冊子	2.7%
⑨チラシ	2.3%
⑩その他	2.2%
⑪総務省・文部科学省作成教材「私たちが拓く日本の未来」で知った	1.0%
⑫市町の発行している広報誌	1.0%
⑬メール	0.2%



## イ 学年別

学年別で項目ごとに大きな違いがあったものとして「高校の授業で習った」が2年生は4.0%に留まるのに対して、1年生は16.4%あった。現在の大学・短大1年生が高校3年生だった平成27年6月に選挙権年齢を満18歳以上に引下げる改正公職選挙法が成立しており、その後に選挙に関する授業が積極的に行われたことが推測される。

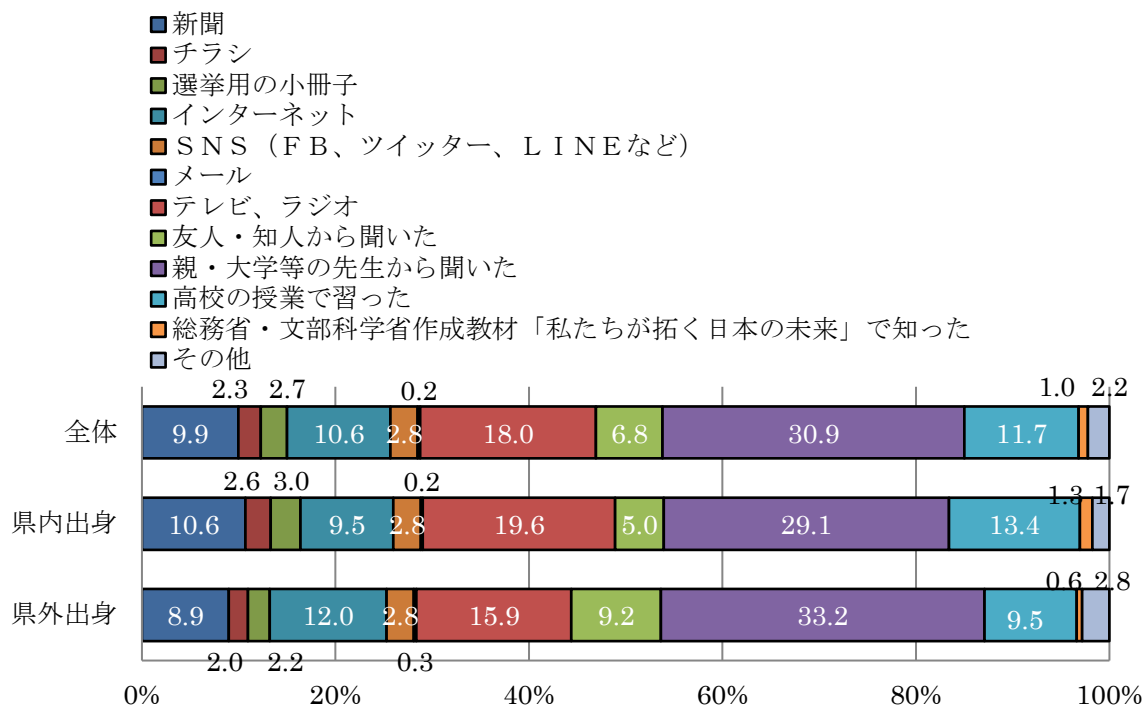
### 不在者投票制度について、どのような方法で知りましたか。(単一回答)



## ウ 出身地別

出身地別で項目ごとに大きな違いがみられなかった。

### 不在者投票制度について、どのような方法で知りましたか。(単一回答)

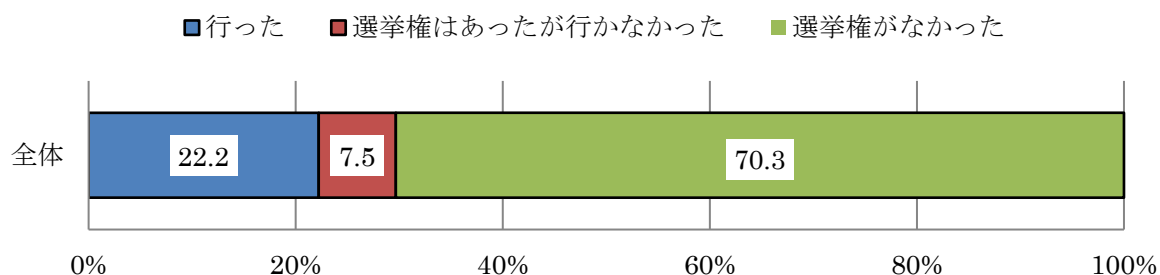


**問11** 7月10日に行われた参議院選挙では投票に行きましたか。(期日前投票、不在者投票を含む) (単一回答) 【高校生・大学生共通】

### (1) 高校3年生

選挙権があった者(全体の29.7%)のうち74.7%が「投票に行った」(全体では22.2%)。「選挙権がなかった」のは7割(70.3%)であった。

7月10日に行われた参議院選挙では投票に行きましたか。(期日前投票、不在者投票を含む) (単一回答)



## (2) 大学・短大1、2年生

### ア 全体

投票した（「現在住んでいる市町で、投票日当日に投票した」、「現在住んでいる市町で、期日前投票をした」、「実家など以前の住所地に戻り、投票日当日に投票した」、「実家など以前の住所地に戻り、期日前投票をした」、「不在者投票をした」の合計。以下同じ）のは、51.1%と半数を超えた。

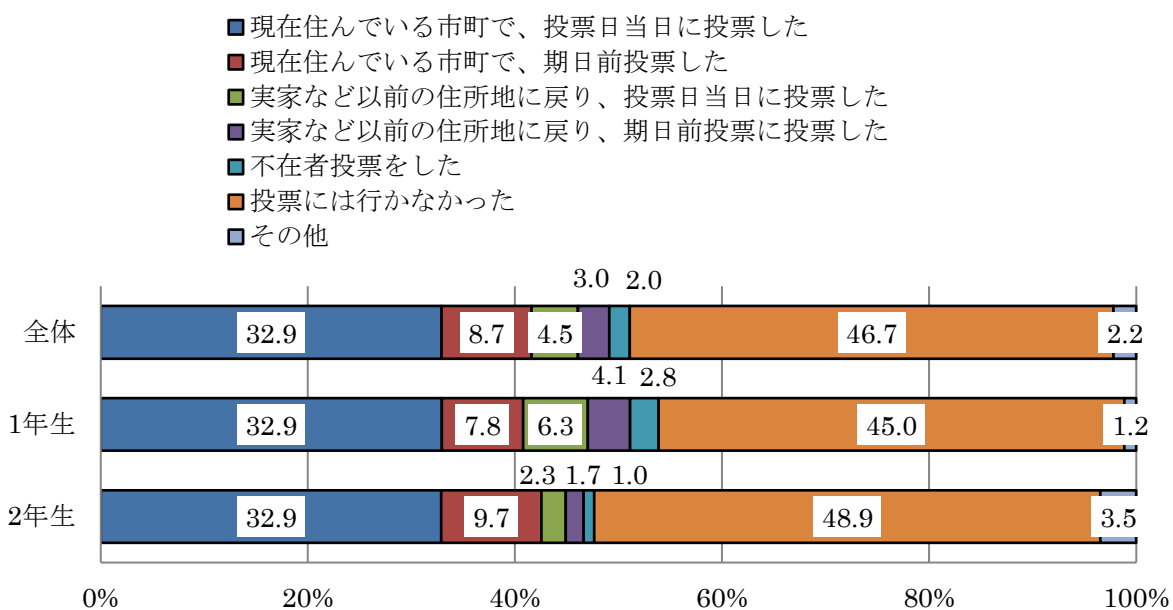
投票方法の上位3つは「現在住んでいる市町で、投票日当日に投票した」（32.9%）、「現在住んでいる市町で、期日前投票をした」（8.7%）、「実家など以前の住所地に戻り、投票日当日に投票した」（4.5%）であった。

### イ 学年別

学年別では、1年生の投票した割合（53.9%）が、2年生の投票した割合（47.6%）より若干高い。

投票方法の順位は、全体の順位と同一であり、学年別で項目ごとに大きな違いがみられなかった。

### 7月10日に行われた参議院選挙では投票に行きましたか。(期日前投票、不在者投票を含む)(単一回答)



### ウ 出身地別

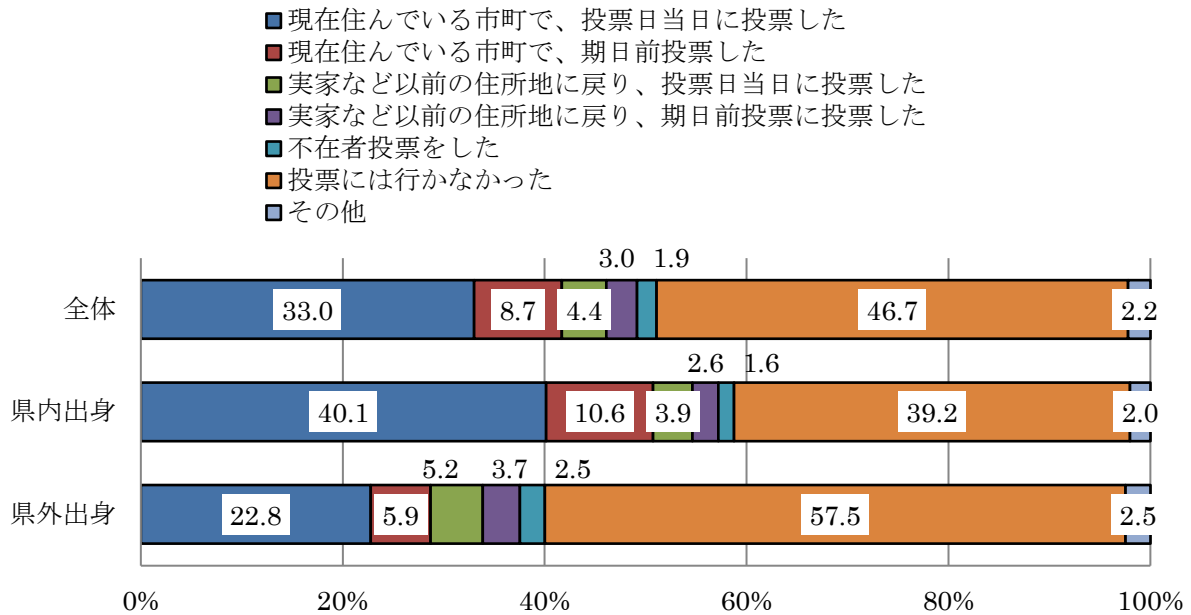
出身地別では、県内出身の投票した割合（58.8%）が、県外出身の投票した割合（40.1%）より約18ポイント高い。

投票方法では、現在住んでいる市町で投票した（「現在住んでいる市町で、投票日当日に投票した」、「現在住んでいる市町で、期日前投票をした」の合計）が県内出身で50.7%であるのに対し、県外出身は28.7%に留まっている。

逆に、実家など以前の住所地に戻り投票した（「実家など以前の住所地に戻り、投票日当日に投票した」、「実家など以前の住所地に戻り、期日前投票をした」の合計）のは、

県外出身が8.9%で、県内出身の6.5%より若干高く、同様に「不在者投票をした」のも県外出身が若干高い（県外出身2.5% > 県内出身1.6%）。

**7月10日に行われた参議院選挙では投票に行きましたか。(期日前投票、不在者投票を含む)(単一回答)**

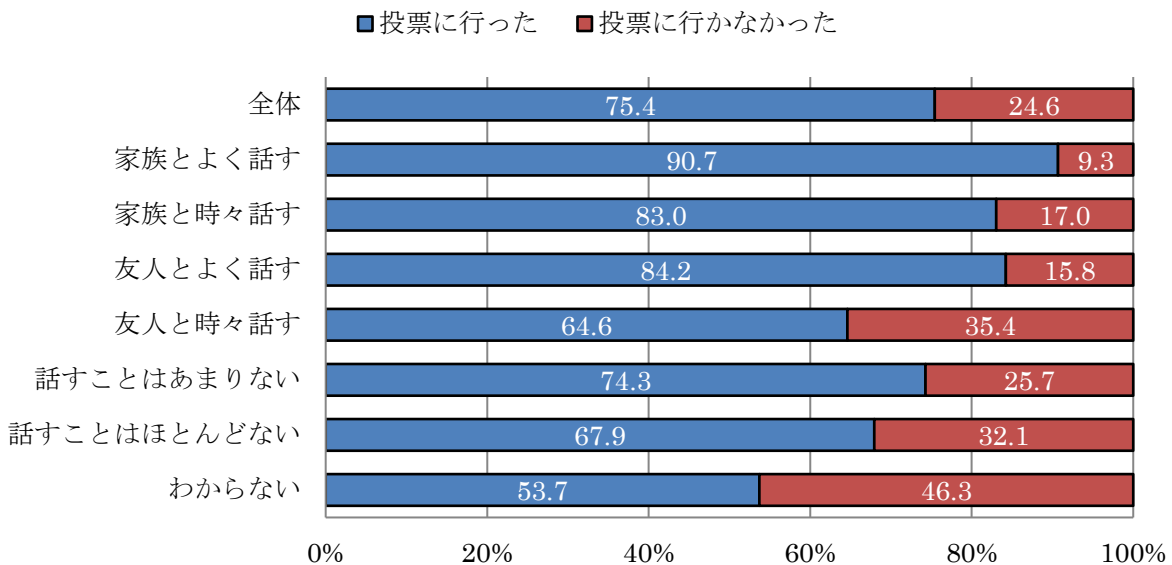


**(3) 家族（友人）と政治の話をする頻度別**

**ア 高校3年生**

後述の間2 1「政治や政策について家族や友人と話すことはありますか」の政治や政策の話をする頻度での回答別に見ると、「家族とよく話す」と回答した人は「投票に行った」が90.7%で最も高く、その割合は、家族や友人と政治や政策の話をする頻度が低下するにつれて少なくなり、「話すことはほとんどない」と回答した人では67.9%、「わからない」と回答した人では53.7%になる。

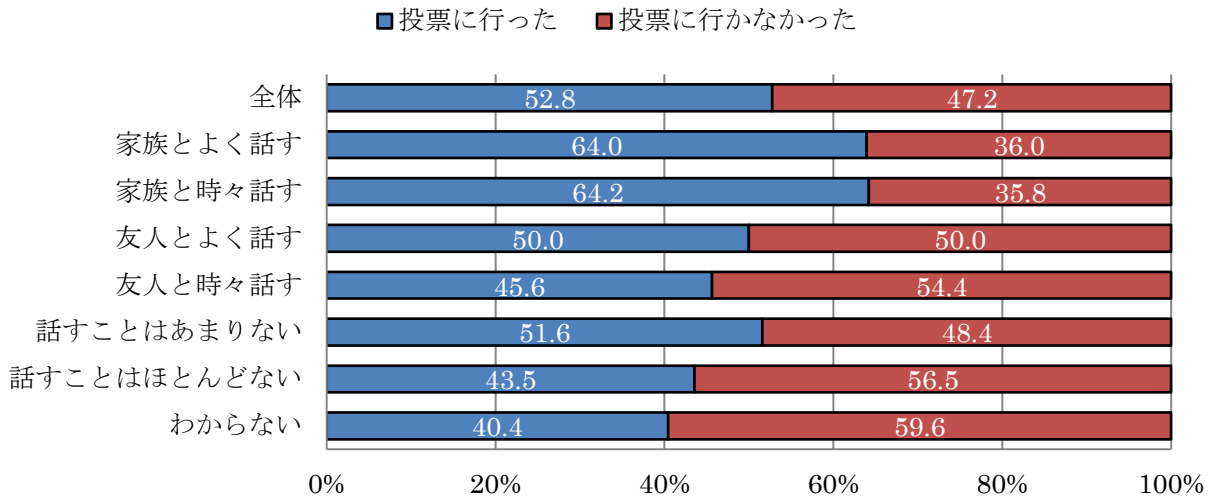
**家族（友人）と政治の話をする頻度別**



## イ 大学・短大1、2年生

大学1、2年生は、高校3年生と概ね同様の傾向であり、「家族と時々話す」と回答した人は「投票に行った」が64.2%で最も高く、その割合は、家族や友人と政治や政策の話をする頻度が低下するにつれて概ね少なくなり、「話すことはほとんどない」と回答した人では43.5%、「わからない」と回答した人では40.4%になる。

家族（友人）と政治の話をする頻度別

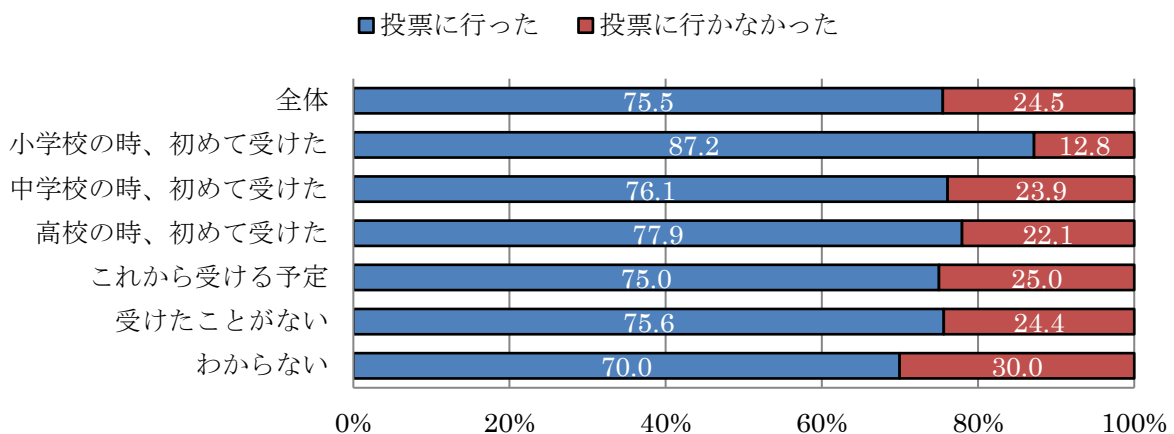


## (4) 選挙に関する授業・選挙出前講座（出前塾）の受講の有無別

### ア 高校3年生

後述の間22「あなたは今までに選挙に関する授業や選挙出前講座（出前塾）を受けたことがありますか。また、受けたことがある場合、初めて受けたのはいつですか」での回答別に見ると、選挙に関する授業や選挙出前講座（出前塾）を「小学生の時、初めて受けた」と回答した人は「投票に行った」が87.2%で最も高い。投票に行った割合は、選挙に関する授業や選挙出前講座（出前塾）を受けた層（「小学生の時、初めて受けた」、「中学生の時、初めて受けた」、「高校生の時、初めて受けた」の合計）が77.8%で、受けていない層（「これから受ける予定」、「受けたことがない」の合計）の75.6%より若干高い。

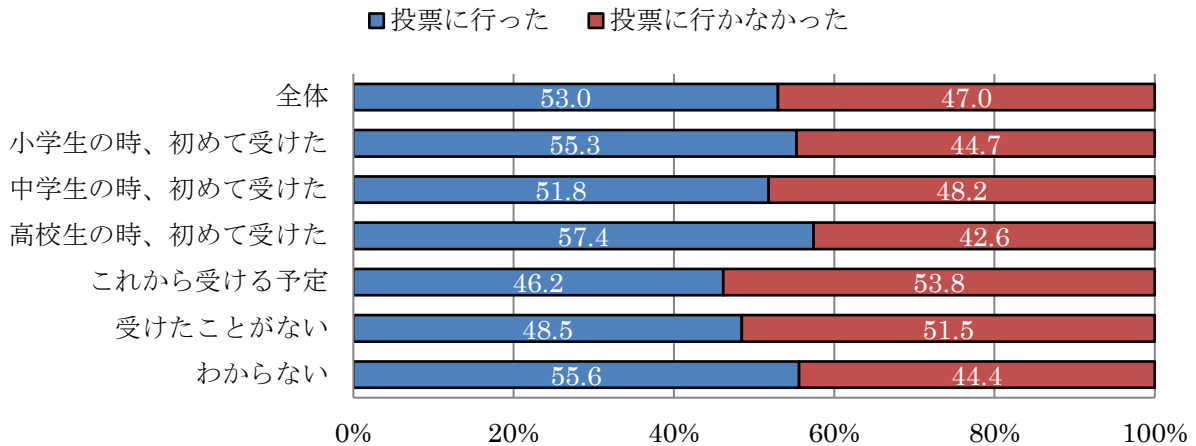
選挙に関する授業・選挙出前講座（出前塾）の受講の有無別



## イ 大学・短大1、2年生

大学1、2年生は、高校3年生と概ね同様の傾向であり、「高校生の時、初めて受けた」と回答した人は「投票に行った」が57.4%で最も高い。投票に行った割合は、選挙に関する授業や選挙出前講座（出前塾）を受けた層が54.7%で、受けていない層の48.4%より約6ポイント高い。

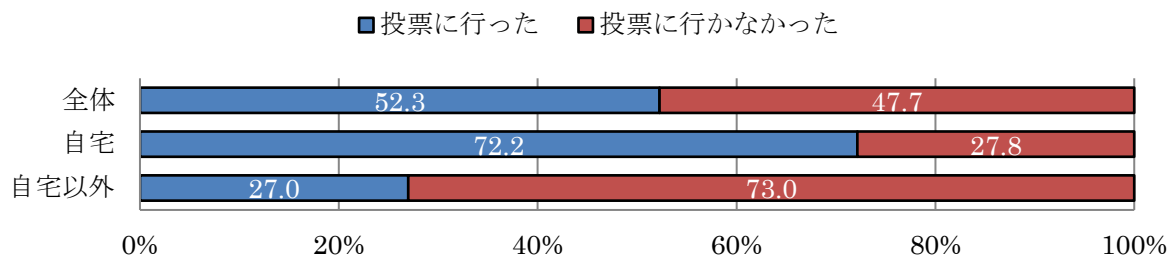
選挙に関する授業・選挙出前講座（出前塾）の受講の有無別



## (5) 現在の住まいの自宅・自宅以外別（大学生のみ）

前述の間4「現在の住まいはどちらですか」での回答別に見ると、現在の住まいを「自宅」と回答した人では「投票に行った」は72.2%で、その割合は、現在の住まいを「自宅以外」と回答した人の27.0%を大きく上回った。

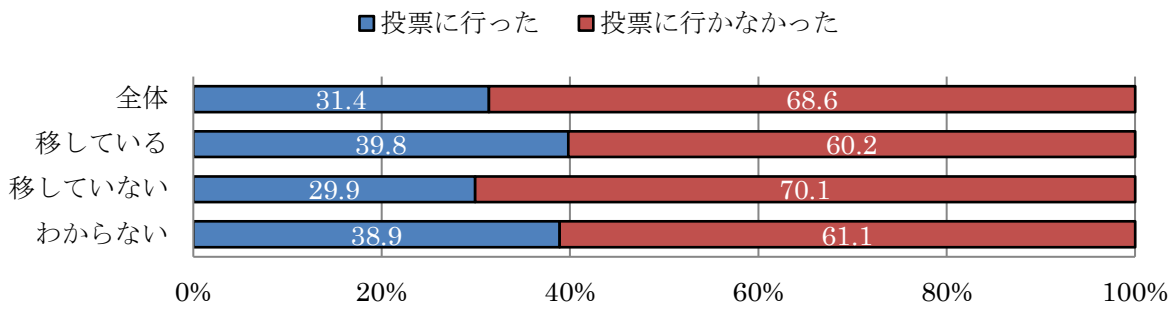
現在の住まいの自宅・自宅以外別



## (6) 現住所への住民票の異動の有無別（大学生のみ）

前述の間5「実家など以前住んでいた市区町村から、現在住んでいる市町に住民票を移していますか」での回答別に見ると、住民票を「移している」と回答した人では「投票に行った」は39.8%で、「移していない」と回答した人の29.9%より約10ポイント高い。

### 現住所への住民票の異動の有無別

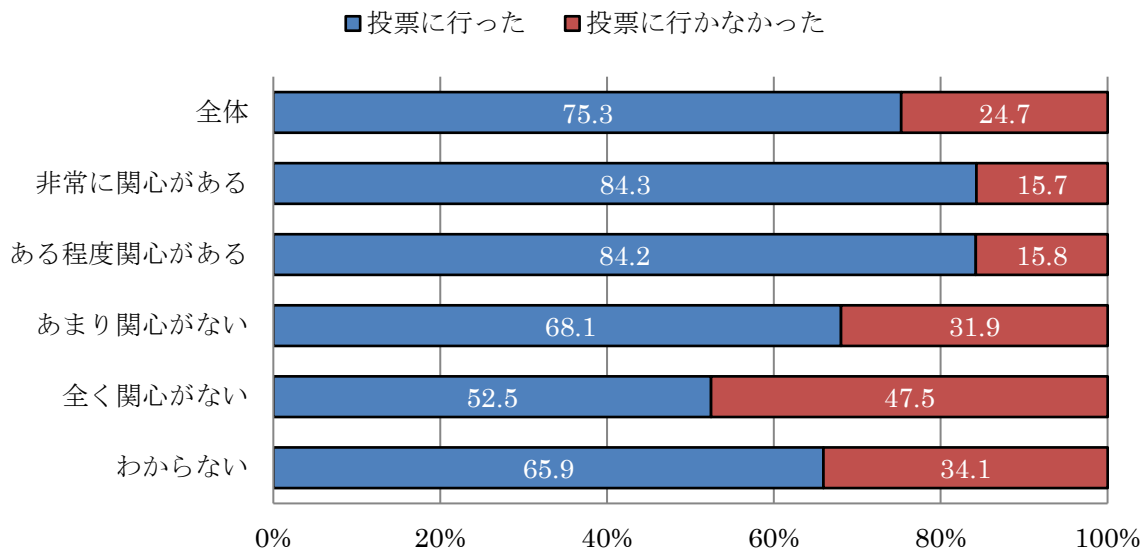


### (7) 政治への関心度合別

#### ア 高校3年生

後述の間18「国や地方の政治にどの程度関心がありますか」での回答別に見ると、国や地方の政治に「非常に関心がある」と回答した人は「投票に行った」が84.3%で最も高い。投票に行った割合は、政治への関心度合が低下するにつれて少なくなり、「あまり関心がない」と回答した人では68.1%、「全く関心がない」と回答した人では52.5%になる。

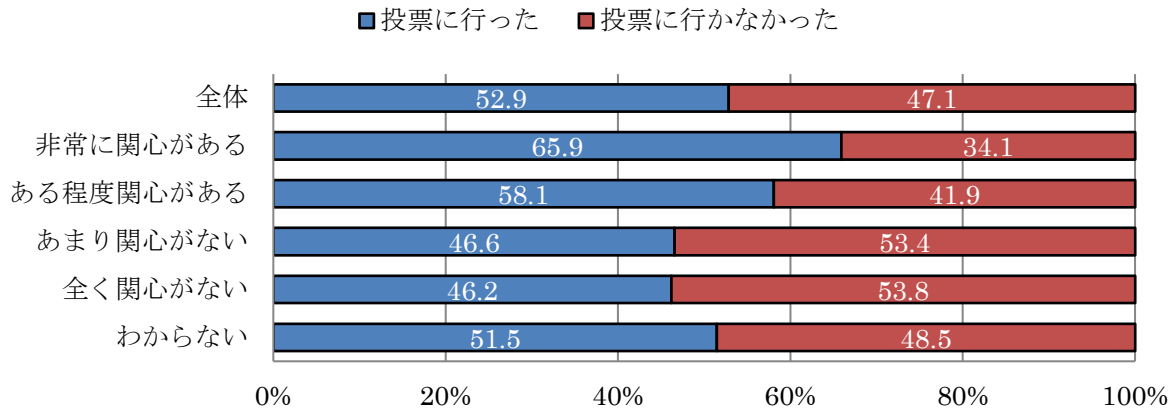
#### 政治への関心度合別



#### イ 大学・短大1、2年生

大学・短大1、2年生は、高校3年生と同様の傾向であり、「非常に関心がある」と回答した人は「投票に行った」が65.9%で最も高く、その割合は、政治への関心度合が低下するにつれて少なくなり、「あまり関心がない」と回答した人では46.6%、「全く関心がない」と回答した人では46.2%になる。

## 政治への関心度合別

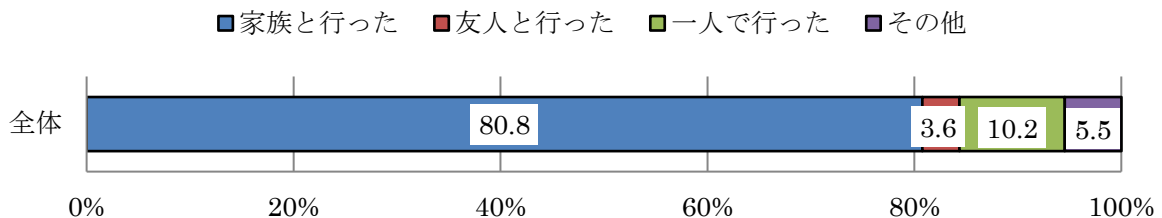


### 問 1 2 (投票に行った人に対して) 参議院選挙の投票は誰と行きましたか。(単一回答) 【高校生・大学生共通】

#### (1) 高校3年生

高校3年生で、参議院選挙の投票に行ったと回答した人に、誰と行ったかを聞いたところ「家族と行った」が80.8%で最も高く、次いで「一人で行った」(10.2%)、「友人と行った」(3.6%)となった。

#### 参議院選挙の投票は誰と行きましたか。(単一回答)



#### (2) 大学・短大1、2年生

##### ア 全体

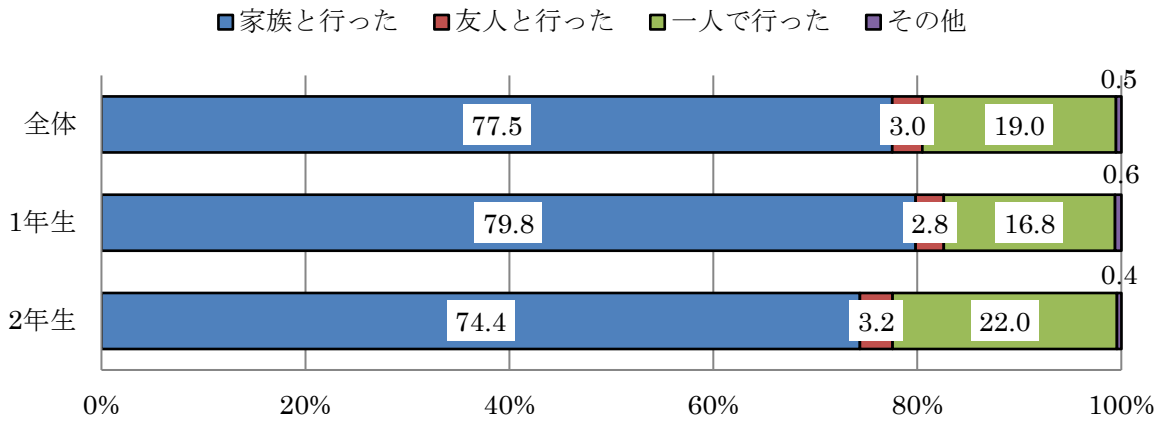
大学・短大1、2年生は、高校3年生と同様の傾向であり、「家族と行った」が77.5%で最も高く、次いで「一人で行った」(19.0%)、「友人と行った」(3.0%)となった。

##### イ 学年別

学年別では、学年が上がるにつれ「家族と行った」割合が減少(1年生79.8% > 2年生74.4%)し、逆に「一人で行った」割合が増加する(1年生16.8% < 2年生22.0%)。



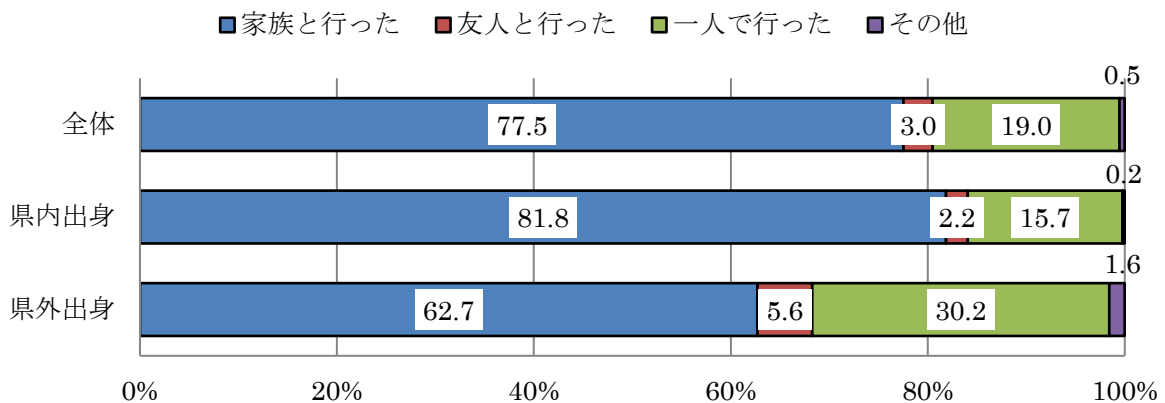
参议院選挙の投票は誰と行きましたか。(単一回答)



ウ 出身地別

出身地別では、違いが大きく、「家族と行った」は県内出身(81.8%)が県外出身(62.7%)に比べて約20ポイント高く、一方「1人で行った」は県外出身(30.2%)が県内出身(15.7%)に比べて約15ポイント高い。

参议院選挙の投票は誰と行きましたか。(単一回答)



**問13** (投票に行った人に対して)あなたが投票に行ったのはどういう気持ちからですか。  
(複数回答)【高校生・大学生共通】

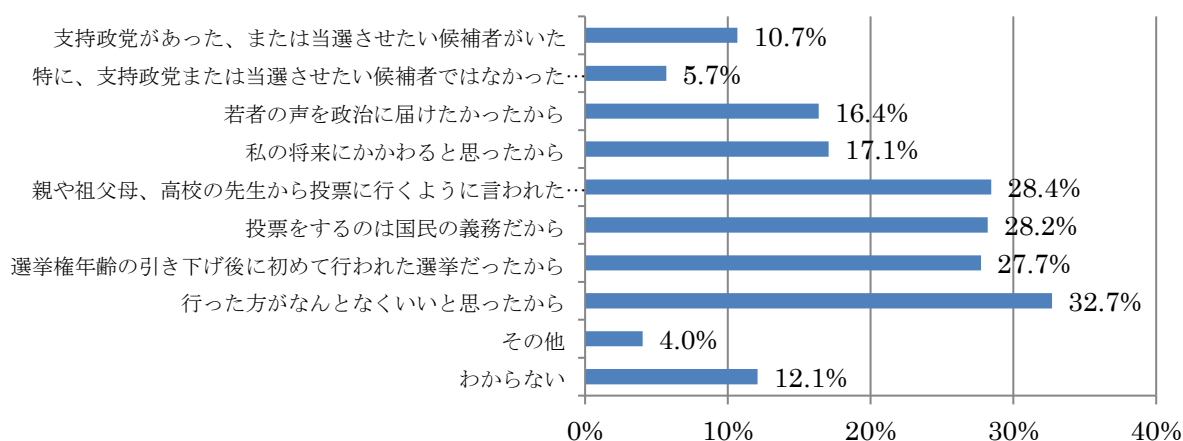
(1) 高校3年生

高校3年生で投票に行ったと回答した人(844人)に、どういう気持ちから投票に行ったかを聞いたところ、回答はやや分散したが、高い順に以下のとおりとなり、なかでは「行った方がなんとなくいいと思ったから」が32.7%で最も高くなった。

- ①行った方がなんとなくいいと思ったから 32.7%
- ②親や祖父母、高校の先生から投票に行くように言われたから 28.4%

③投票をするのは国民の義務だから	28.2%
④選挙権年齢の引き下げ後に初めて行われた選挙だったから	27.7%
⑤私の将来にかかわると思ったから	17.1%
⑥若者の声を政治に届けたかったから	16.4%
⑦わからない	12.1%
⑧支持政党があった、または当選させたい候補者がいた	10.7%
⑨特に、支持政党または当選させたい候補者ではなかったが、次善（セカンドベスト）の政党または候補者がいた	5.7%
⑩その他	4.0%

**あなたが投票に行ったのはどういう気持ちからですか。（複数回答）**



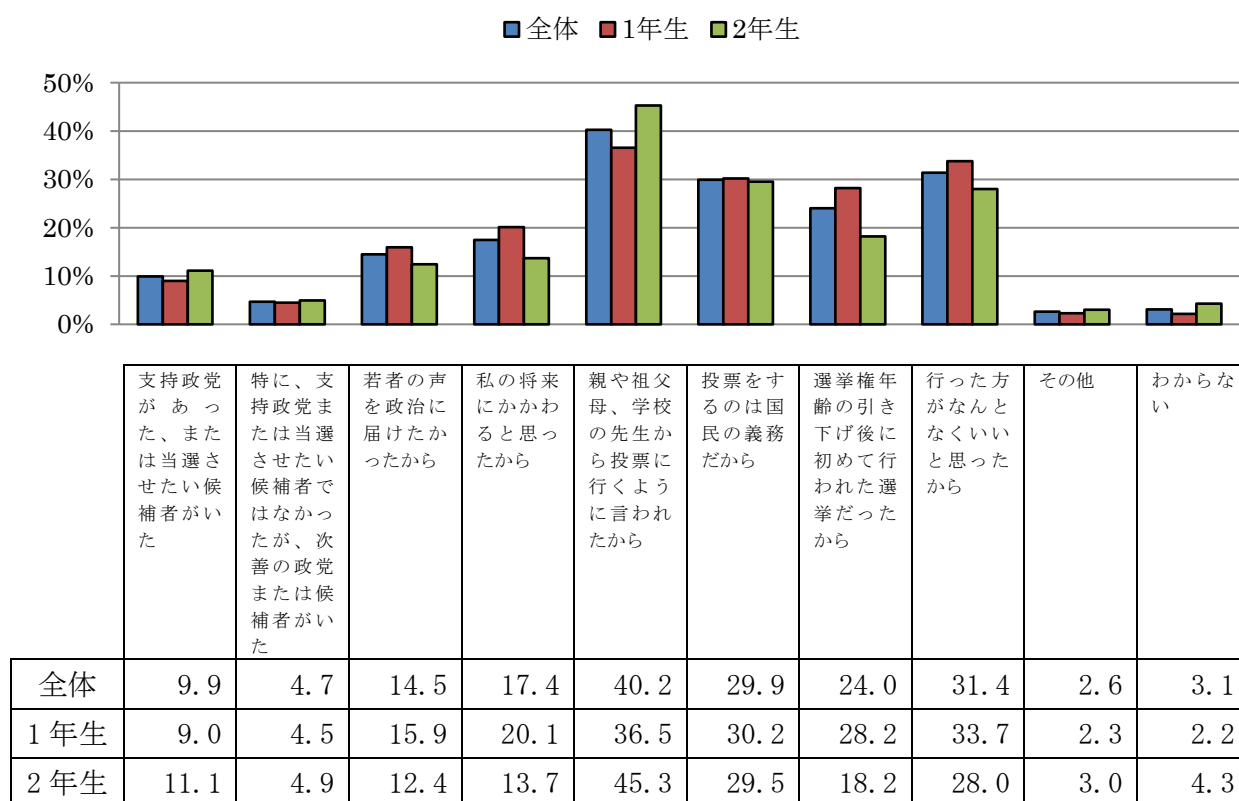
**（２）大学・短大１、２年生**

大学・短大１、２年生で「投票に行った」と回答した人（1,114人）に、どういう気持ちから投票に行ったかを聞いたところ、「親や祖父母、学校の先生から投票に行くように言われたから」が40.2%で最も高く、次いで「行った方がなんとなくいいと思ったから」（31.4%）、「投票をするのは国民の義務だから」（29.9%）となった。

学年別、出身地別で選択肢ごとの大きな違いは見られない。

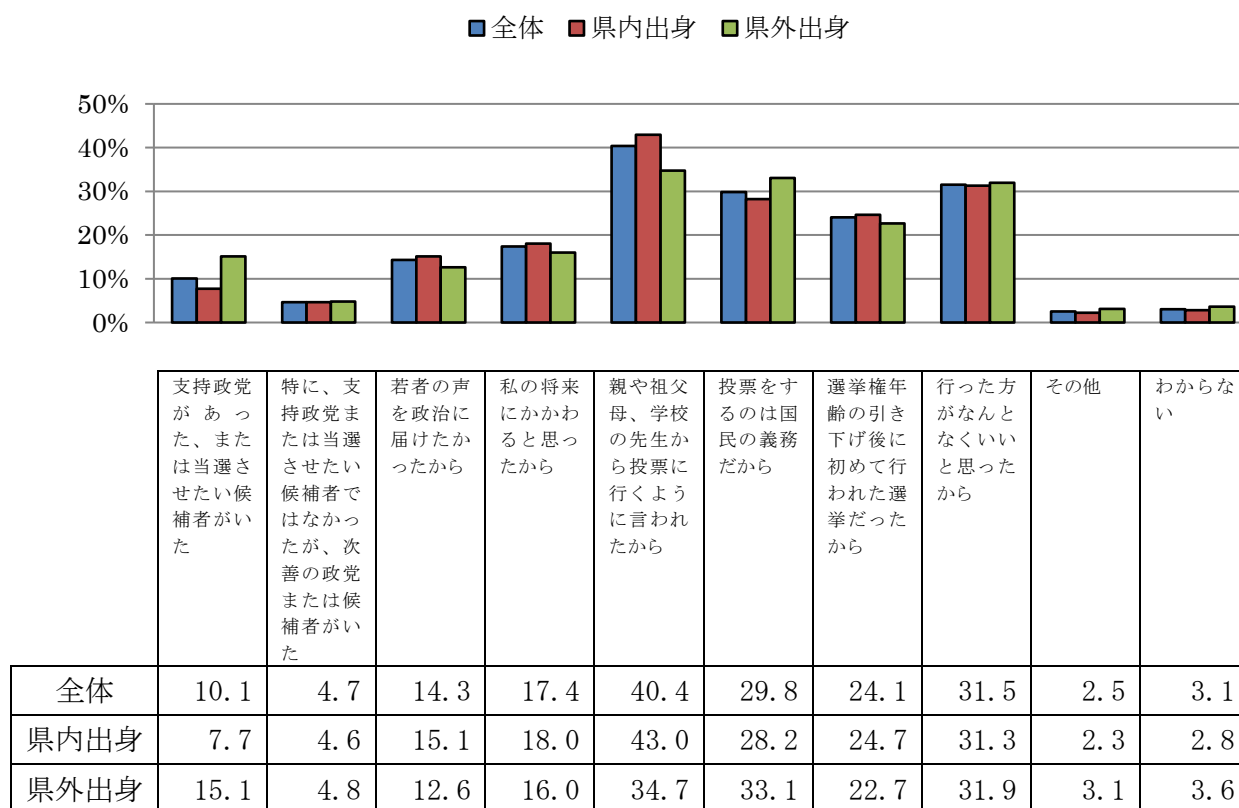
## ア 学年別

あなたが投票に行ったのはどういう気持ちからですか。(複数回答)



## イ 出身地別

あなたが投票に行ったのはどういう気持ちからですか。(複数回答)



**問 1 4** (投票に行かなかった人に対して) あなたが投票に行かなかったのはなぜですか。

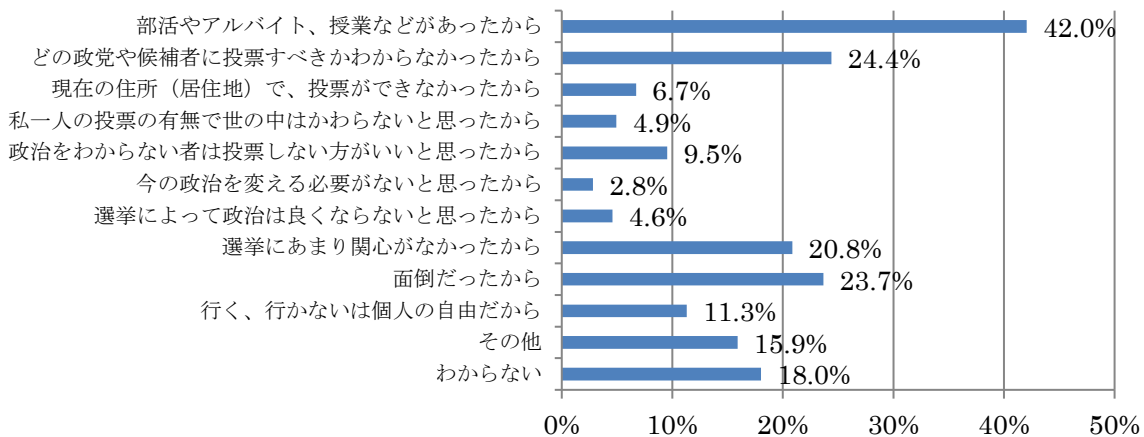
(複数回答)【高校生・大学生共通】

(1) 高校3年生

高校3年生で投票に行かなかったと回答した人(283人)にその理由を聞いたところ、「部活やアルバイト、授業などがあったから」が42.0%と最も高く、次いで「どの政党や候補者に投票すべきかわからなかったから」(24.4%)「面倒だったから」(23.7%)であった。

①部活やアルバイト、授業などがあったから	42.0%
②どの政党や候補者に投票すべきかわからなかったから	24.4%
③面倒だったから	23.7%
④選挙にあまり関心がなかったから	20.8%
⑤わからない	18.0%
⑥その他	15.9%
⑦行く、行かないは個人の自由だから	11.3%
⑧政治をわからない者は投票しない方がいいと思ったから	9.5%
⑨現在の住所(居住地)で、投票ができなかったから	6.7%
⑩私一人の投票の有無で世の中はかわらなと思ったから	4.9%
⑪選挙によって政治は良くならなと思ったから	4.6%
⑫今の政治を変える必要がなと思ったから	2.8%

あなたが投票に行かなかったのはなぜですか。(複数回答)



(2) 大学・短大1、2年生

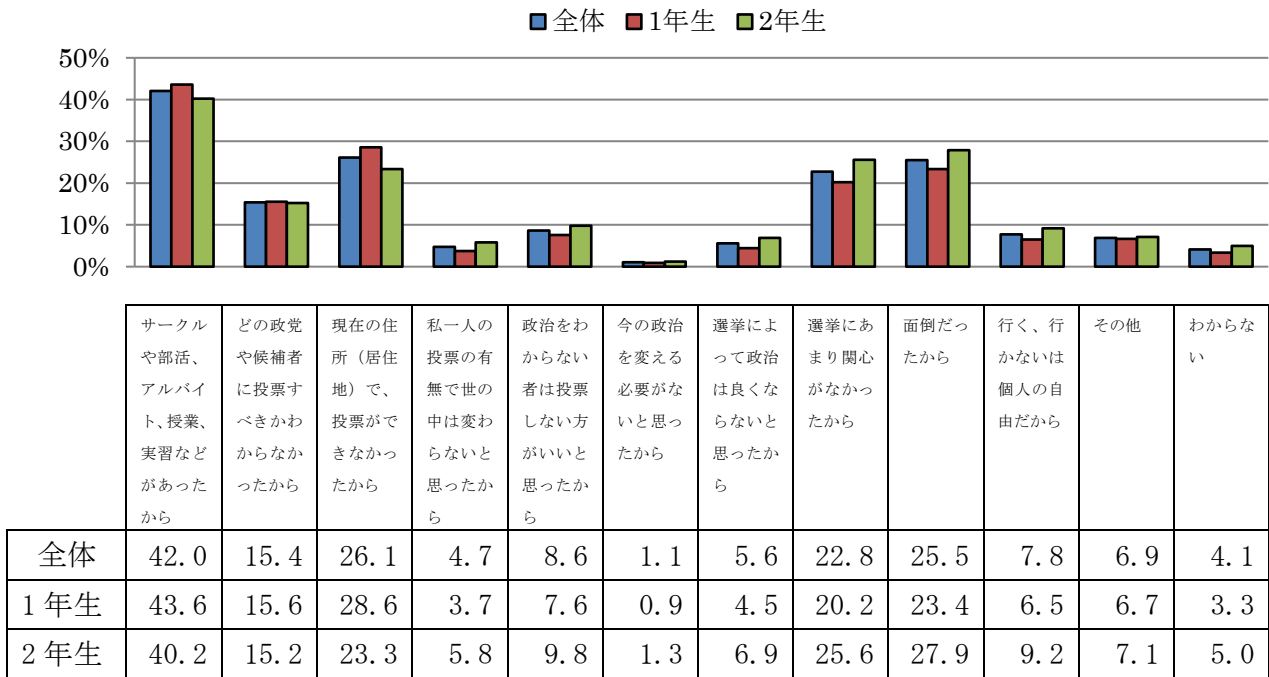
ア 全体

大学・短大1、2年生で投票に行かなかったと回答した人(1,019人)にその理由を聞いたところ、「サークルや部活、アルバイト、授業、実習などがあったから」が42.0%と最も高く、次いで「現在の住所(居住地)で、投票ができなかったから」(26.1%)、「面倒だったから」(25.5%)であった。

## イ 学年別

学年別では選択肢ごとに大きな違いはみられなかった。

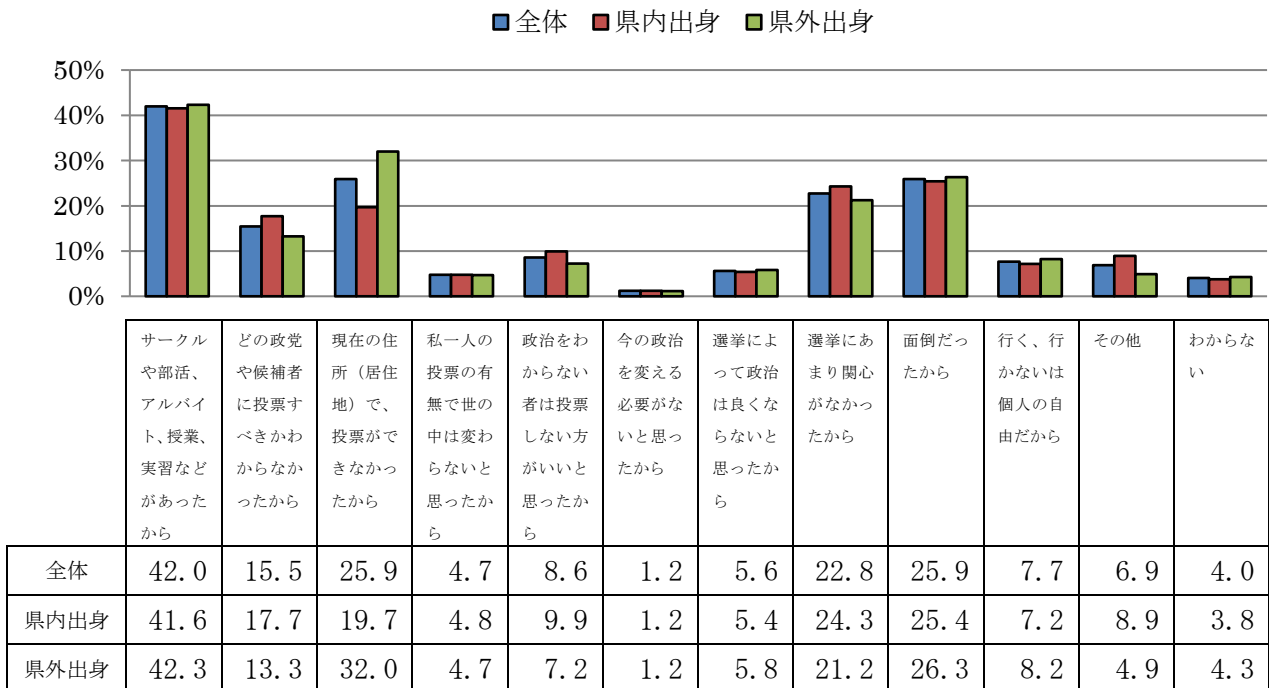
あなたが投票に行かなかったのはなぜですか。(複数回答)



## ウ 出身地別

出身地別では「現在の住所(居住地)で、投票ができなかったから」が県外出身(32.0%)の方が県内出身(19.7%)より約13ポイント高かった。

あなたが投票に行かなかったのはなぜですか。(複数回答)



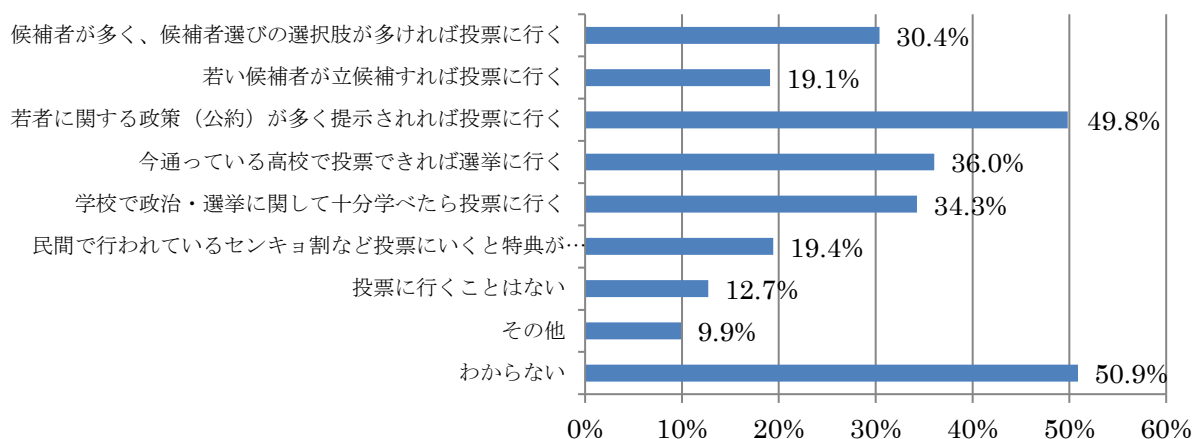
**問15** (投票に行かなかった人に対して) 次の選挙の時に、どのような状況だったら投票に行こうと思いますか。(複数回答) 【高校生・大学生共通】

(1) 高校3年生

高校3年生で「選挙権はあったが投票に行かなかった」と回答した人(283人)に、次の選挙の時に、どのような状況だったら投票に行こうと思うか聞いたところ「わからない」が50.9%と最も高く、次いで僅差で「若者に関する政策(公約)が多く提示されれば投票に行く」(49.8%)となり、「今通っている高校で投票できれば選挙に行く」(36.0%)と投票環境が向上すれば投票に行くとする回答が3番目に高かった。

①わからない	50.9%
②若者に関する政策(公約)が多く提示されれば投票に行く	49.8%
③今通っている高校で投票できれば選挙に行く	36.0%
④学校で政治・選挙に関して十分学べたら投票に行く	34.3%
⑤候補者が多く、候補者選びの選択肢が多ければ投票に行く	30.4%
⑥民間で行われているセンキョ割など投票にいくと特典がもらえれば選挙に行く	19.4%
⑦若い候補者が立候補すれば投票に行く	19.1%
⑧投票に行くことはない	12.7%
⑨その他	9.9%

次の選挙の時に、どのような状況だったら投票に行こうと思いますか。(複数回答)



(2) 大学・短大1、2年生

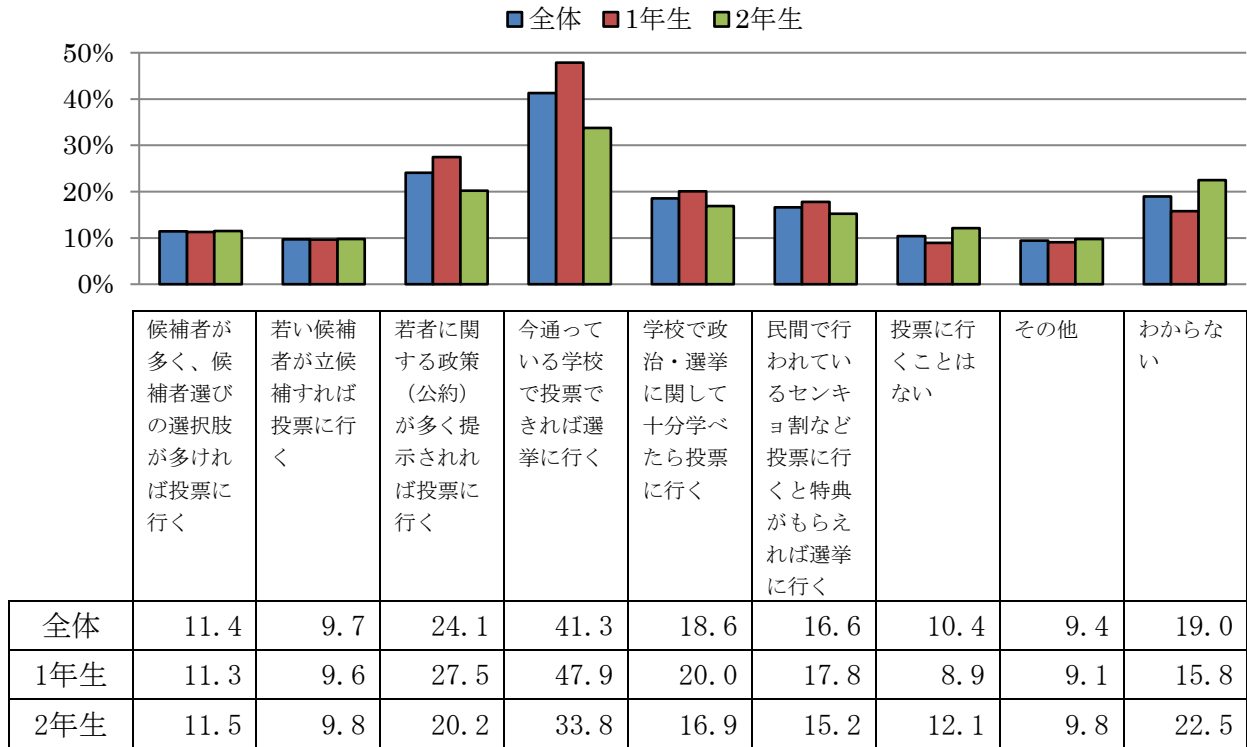
ア 全体

大学生で投票に行かなかったと回答した人(1,019人)に、次の選挙の時に、どのような状況だったら投票に行こうと思うか聞いたところ「今通っている学校で投票できれば選挙に行く」と投票環境が向上すれば選挙に行くとする回答が41.3%と最も高く、次いで「若者に関する政策(公約)が多く提示されれば投票に行く」(24.1%)、「わからない」(19.0%)であった。

## イ 学年別

学年別では「今通っている学校で投票できれば選挙に行く」とした回答が、1年生(47.9%)が、2年生(33.8%)を14ポイント上回った。

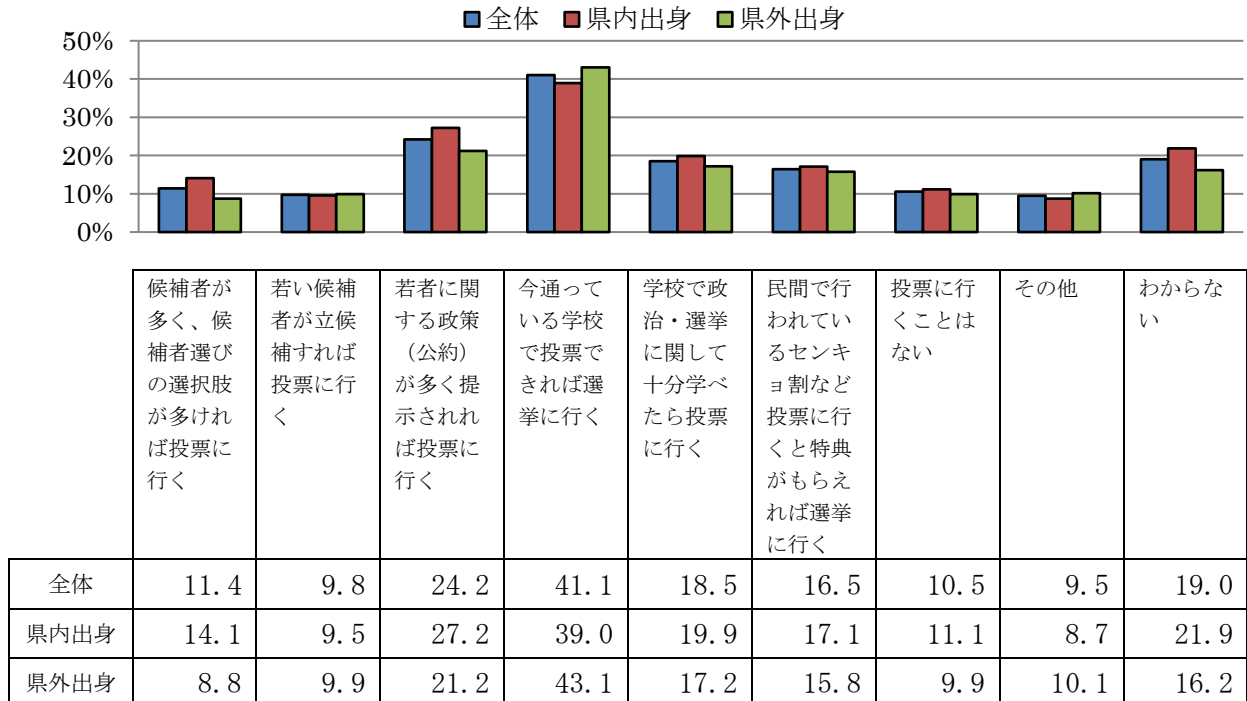
次の選挙の時に、どのような状況だったら投票に行こうと思いますか。(複数回答)



## ウ 出身地別

出身地別では選択肢ごとに大きな違いはみられなかった。

次の選挙の時に、どのような状況だったら投票に行こうと思いますか。(複数回答)



**問16** 選挙では、投票日当日に用事があって投票所に行くことができない方のために、期日前投票という制度があり、投票日の前にあらかじめ指定された期日前投票所において投票することができます。

また、遠隔地に住んでいること等により投票日当日に投票所に行くことができない方のために、不在者投票という制度があり、投票用紙等を郵便で取り寄せて、現在の住所地で、あらかじめ指定された不在者投票所において投票することができます。

あなたは、次のどの条件が満たされれば投票に行きますか（または投票に行きやすくなると思いますか）。（複数回答）【大学生のみ】

(1) 大学・短大1、2年生

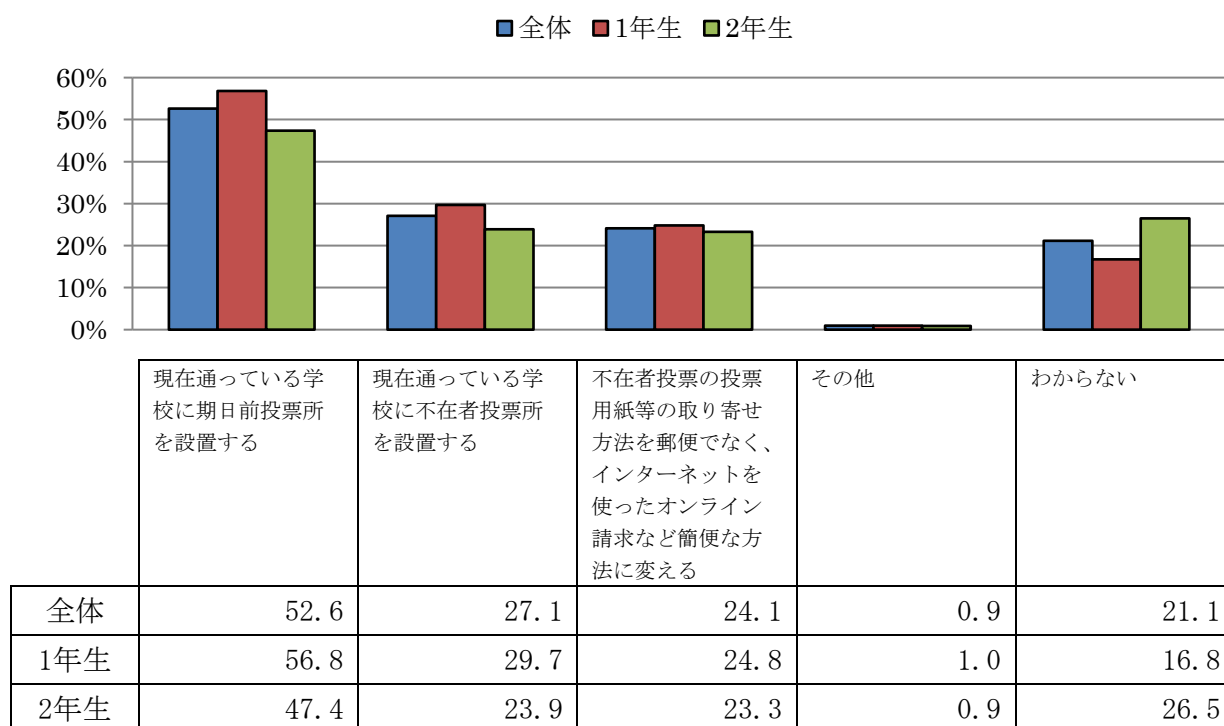
ア 全体

大学・短大1、2年生に、期日前投票または不在者投票をどのようにすれば、投票に行くか、または投票に行きやすくなると思うか聞いたところ、「現在通っている学校に期日前投票所を設置する」が52.6%で最も高く、半数を超える大学生が大学構内に期日前投票所を設置すれば投票に行く可能性が高まると回答している。次いで「現在通っている学校に不在者投票所を設置する」(27.1%)、「不在者投票の投票用紙等の取り寄せ方法を郵便でなく、インターネットを使ったオンライン請求など簡便な方法に変える」(24.1%)であった。

イ 学年別

学年別では選択肢ごとに大きな違いはみられない。

期日前投票、不在者投票でどの条件が満たされれば投票に行きますか  
(または投票に行きやすくなると思いますか)。(複数回答)

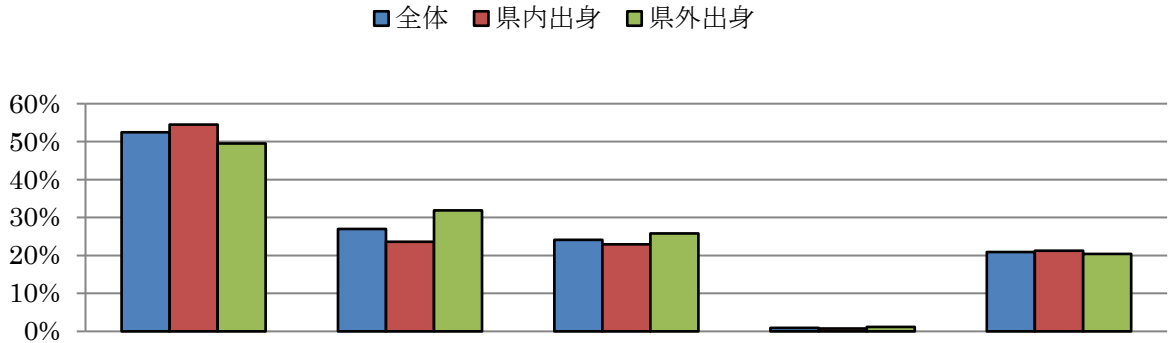




## ウ 出身地別

出身地別では「現在通っている学校に不在者投票所を設置する」とした回答が、県外出身（31.9%）が、県内出身（23.6%）を約8ポイント上回った。

期日前投票、不在者投票でどの条件が満たされれば投票に行きますか  
（または投票に行きやすくなると思いますか）。（複数回答）



	現在通っている学校に期日前投票所を設置する	現在通っている学校に不在者投票所を設置する	不在者投票の投票用紙等の取り寄せ方法を郵便でなく、インターネットを使ったオンライン請求など簡便な方法に変える	その他	わからない
全体	52.5	27.0	24.1	0.9	20.9
県内出身	54.5	23.6	22.9	0.8	21.3
県外出身	49.5	31.9	25.8	1.2	20.4

**問 17** 次の選挙（または初めての選挙）では投票に行きますか。（単一回答）

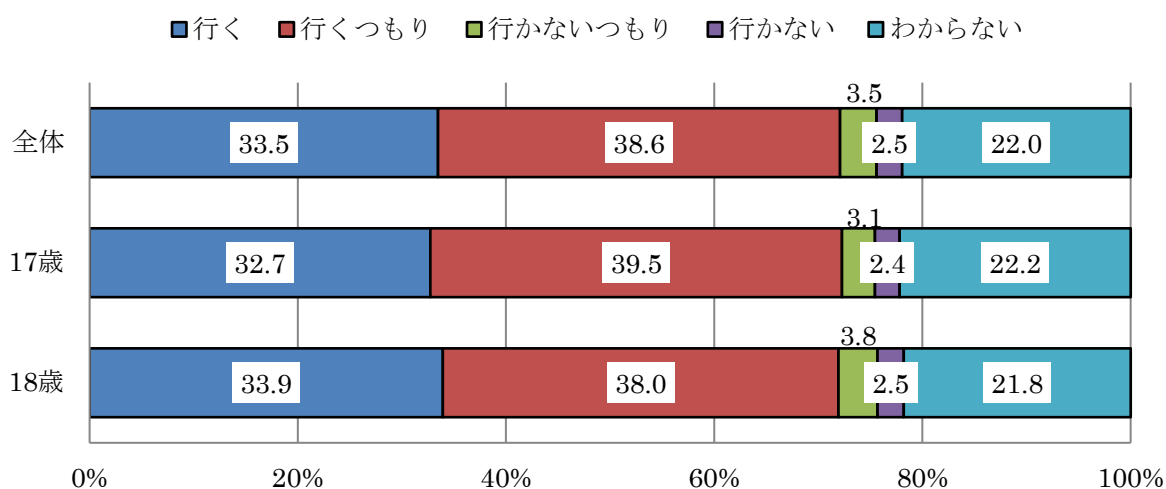
【高校生・大学生共通】

### （1）高校3年生

全体で選択率が最も高かったのは「行くつもり」（38.6%）、次いで「行く」（33.5%）、「わからない」（22.0%）となっている。

「行く」または「行くつもり」と回答した人は72.1%、「行かないつもり」または「行かない」と回答した人は6.0%で、年齢別で大きな違いはみられない。

次の選挙（または初めての選挙）では投票に行きますか。（単一回答）



(2) 大学・短大1、2年生

ア 全体

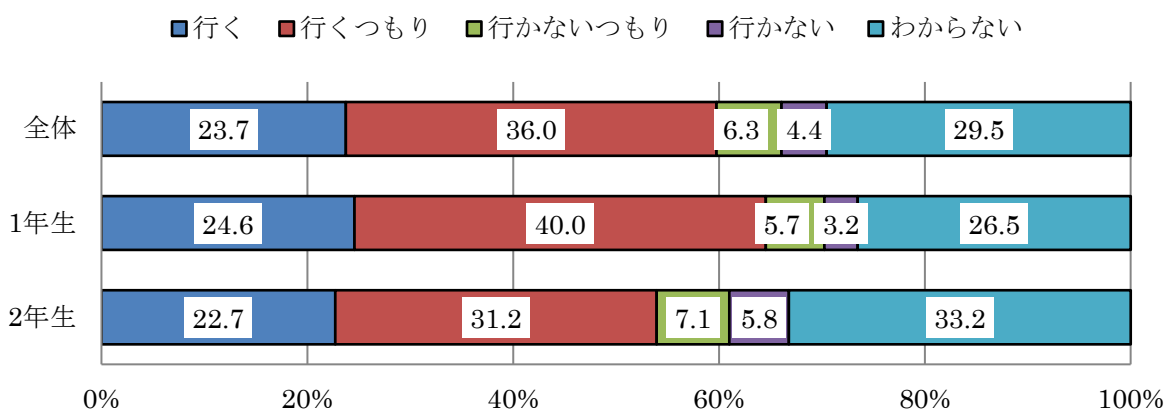
全体で選択率が最も高かったのは「行くつもり」(36.0%)、次いで「わからない」(29.5%)、「行く」(23.7%)となっている。

「行く」または「行くつもり」と回答した人は59.7%、「行かないつもり」または「行かない」と回答した人は10.7%であった。

イ 学年別

「行くつもり」は1年生が40.0%で2年生の31.2%に比べて約9ポイント高い。逆に「わからない」は2年生が33.2%で1年生の26.5%に比べて約7ポイント高い。

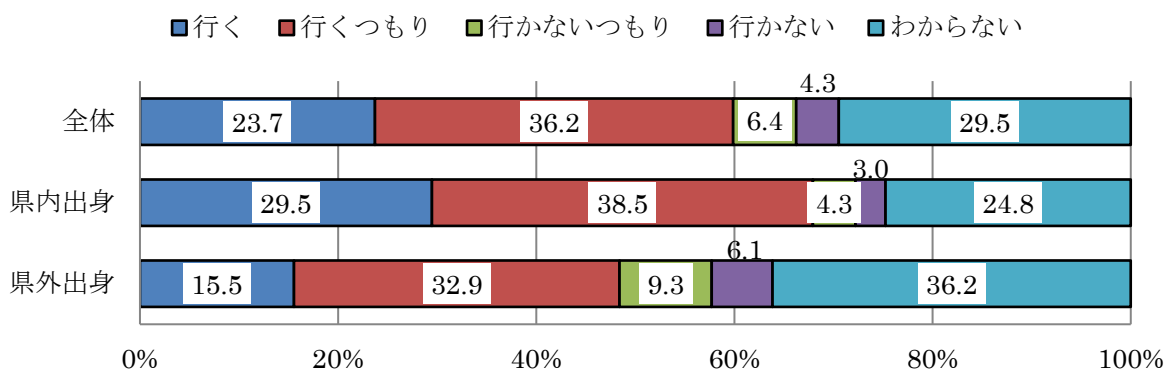
次の選挙（または初めての選挙）では投票に行きますか。（単一回答）



ウ 出身地別

「行く」は県内出身が29.5%で県外出身の15.5%に比べて14ポイント高い。「行く」または「行くつもり」は県内出身が68.0%で県外出身の48.4%に比べて約20ポイント高い。

次の選挙（または初めての選挙）では投票に行きますか。（単一回答）



(3) 投票の有無別

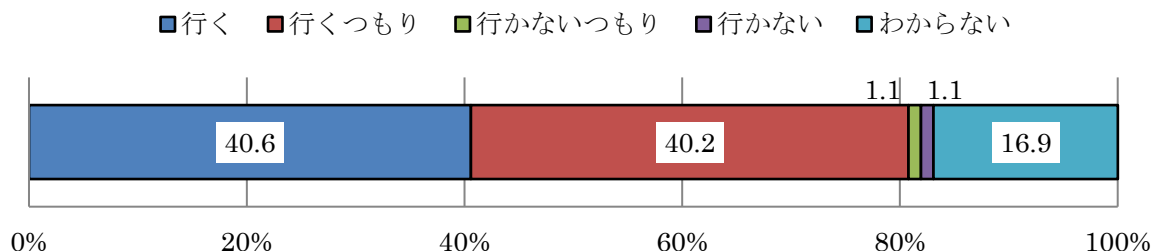
ア 高校3年生

参議院選挙での投票の有無別に次の選挙で投票に行くか聞いたところ、投票に行ったと回答した人では「行こうと思う」（「行く40.6%」、「行くつもり40.2%」の合計）が80.8%を占めた。

一方、投票に行かなかったと回答した人では「行こうと思う」（「行く10.4%」、「行くつもり27.7%」の合計）が38.1%に留まり、「わからない」が43.4%となった。

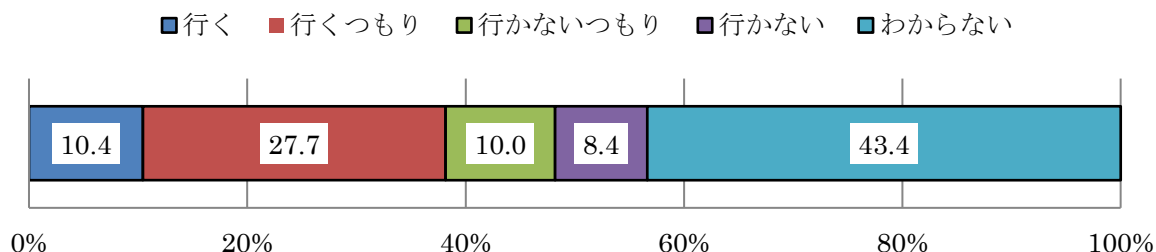
(ア) 投票に行った人

投票の有無別



(イ) 投票に行かなかった人

投票の有無別



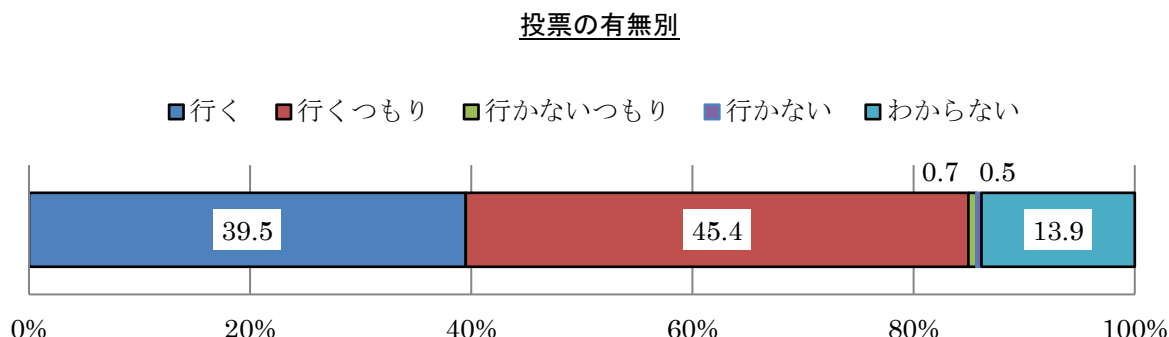
イ 大学・短大1、2年生

参議院選挙での投票の有無別に次の選挙で投票に行くか聞いたところ、投票に行った

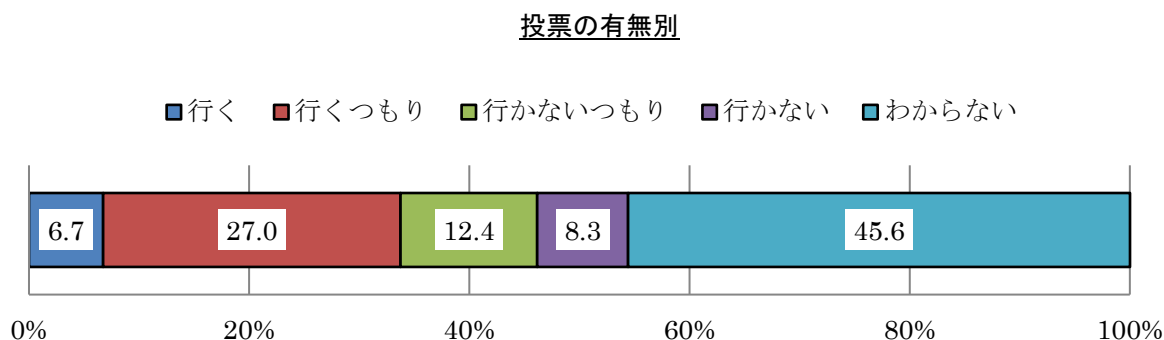
と回答した人では「行こうと思う」（「行く39.5%」、「行くつもり45.4%」の合計）が84.9%を占めた。

一方、投票に行かなかったと回答した人では「行こうと思う」（「行く6.7%」、「行くつもり27.0%」の合計）が33.7%に留まり、「わからない」が45.6%となった。

#### (ア) 投票に行った人



#### (イ) 投票に行かなかった人



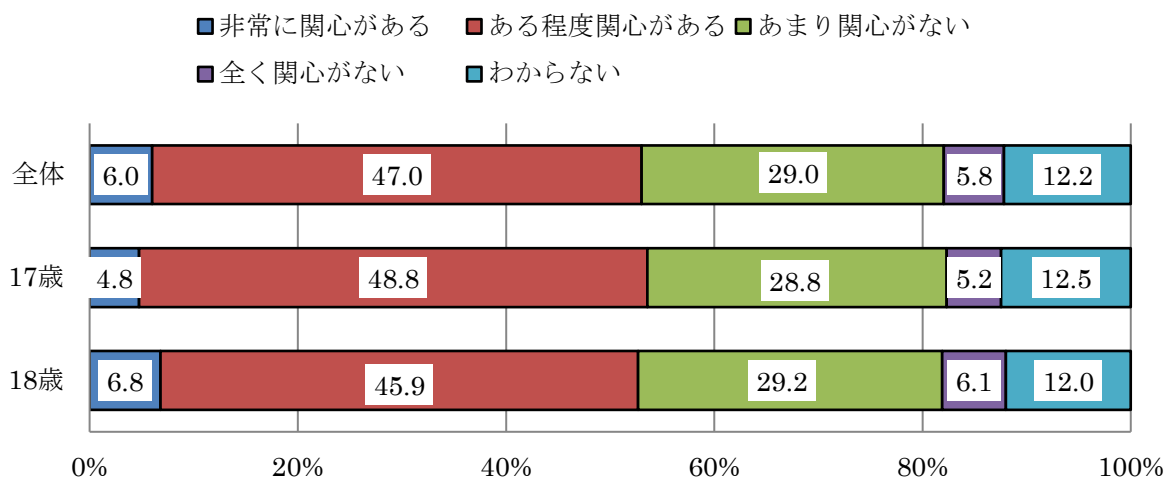
### 問18 国や地方の政治にどの程度関心がありますか。(単一回答)【高校生・大学生共通】

#### (1) 高校3年生

全体では、「非常に関心がある」または「ある程度関心がある」と回答した人は全体で53.0%と半数を超え、「あまり関心がない」または「全く関心がない」と回答した人は全体で34.8%となった。

前回調査との比較では「非常に関心がある」または「ある程度関心がある」と回答した人が約10ポイント高くなっている（前回調査 42.3%）。逆に「あまり関心がない」または「全く関心がない」と回答した人は9ポイント低くなっており（前回調査 43.8%）、政治に関心がある層が増加している。

国や地方の政治にどの程度関心がありますか。（単一回答）



(2) 大学・短大1、2年生

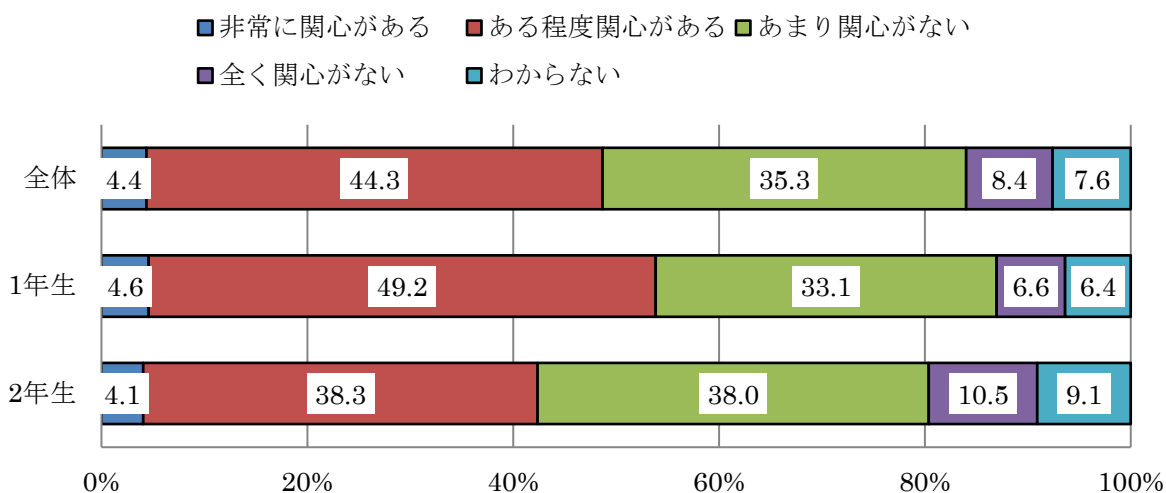
ア 全体

全体では「非常に興味がある」または「ある程度関心がある」と回答した人は全体で48.7%、「あまり関心がない」または「全く関心がない」と回答した人は全体で43.7%となった。

イ 学年別

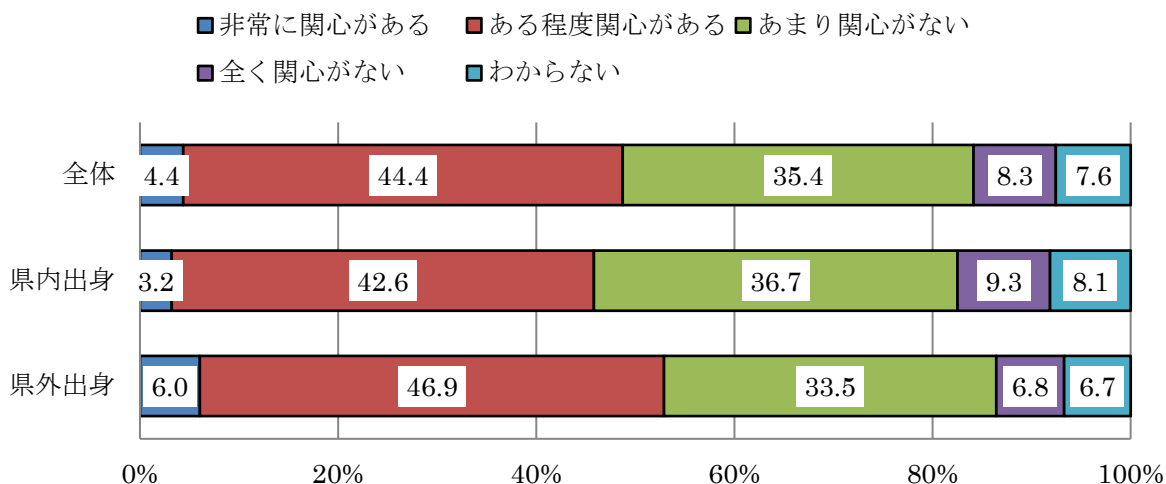
項目別では「非常に興味がある」または「ある程度関心がある」は学年が上がるにつれ減少するのに対し、「あまり関心がない」、「全く関心がない」または「わからない」は学年が上がるにつれ増加している。

国や地方の政治にどの程度関心がありますか。（単一回答）



## イ 出身地別

国や地方の政治にどの程度関心がありますか。（単一回答）



問19 自分自身の生活と政治とはどの程度関係していると思いますか。（単一回答）

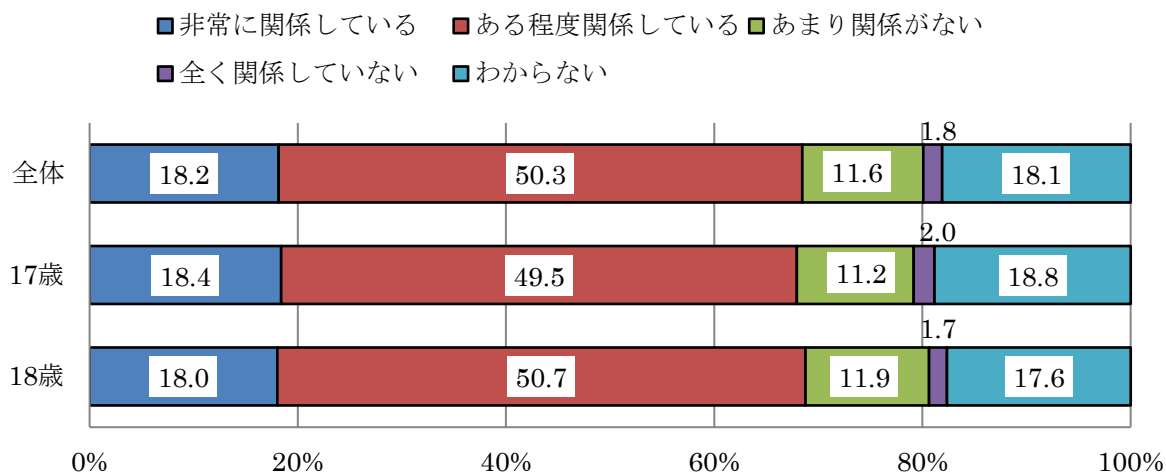
【高校生・大学生共通】

### (1) 高校3年生

全体で「関係している（非常に＋ある程度）」と考える人は68.5%、「関係していない（あまり＋全く）」と考える人は13.4%となった。

前回調査との比較では、「関係している（非常に＋ある程度）」と回答した人が約6ポイント高くなっている（前回調査 62.8%）。逆に「関係していない（あまり＋全く）」と回答した人は微減（約3ポイント）しており（前回調査 16.6%）、自分自身の生活と政治は関係していると考える層が増加している。

自分自身の生活と政治とはどの程度関係していると思いますか。（単一回答）



## (2) 大学・短大1、2年生

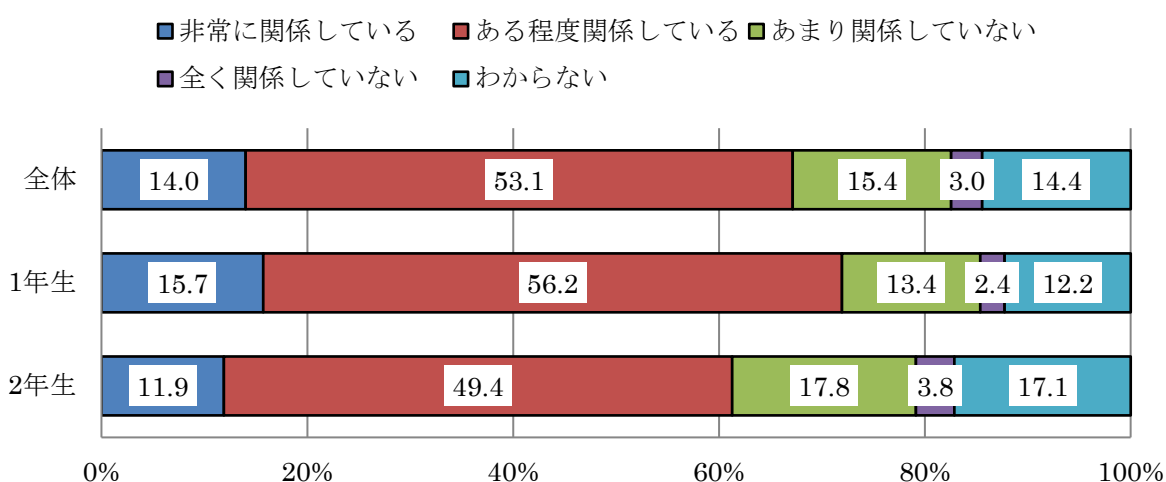
### ア 全体

「関係している（非常に+ある程度）」と考える人は全体で67.1%、「関係していない（あまり+全く）」と考える人は全体で18.4%であった。

### イ 学年別

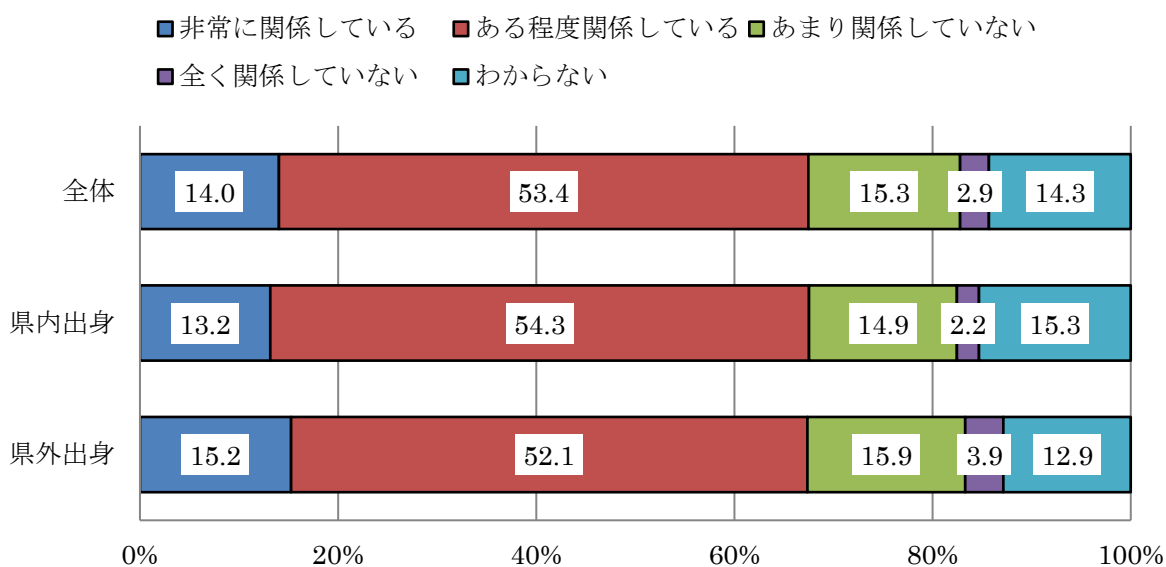
項目別では「非常に関係がある」または「ある程度関係がある」は学年が上がるにつれ減少するのに対し、「あまり関係がない」、「全く関係がない」または「わからない」は学年が上がるにつれ増加している。この傾向は、前問「国や地方の政治にどの程度関心がありますか」と同じである。

自分自身の生活と政治とはどの程度関係していると思いますか。（単一回答）



### イ 出身地別

自分自身の生活と政治とはどの程度関係していると思いますか。（単一回答）

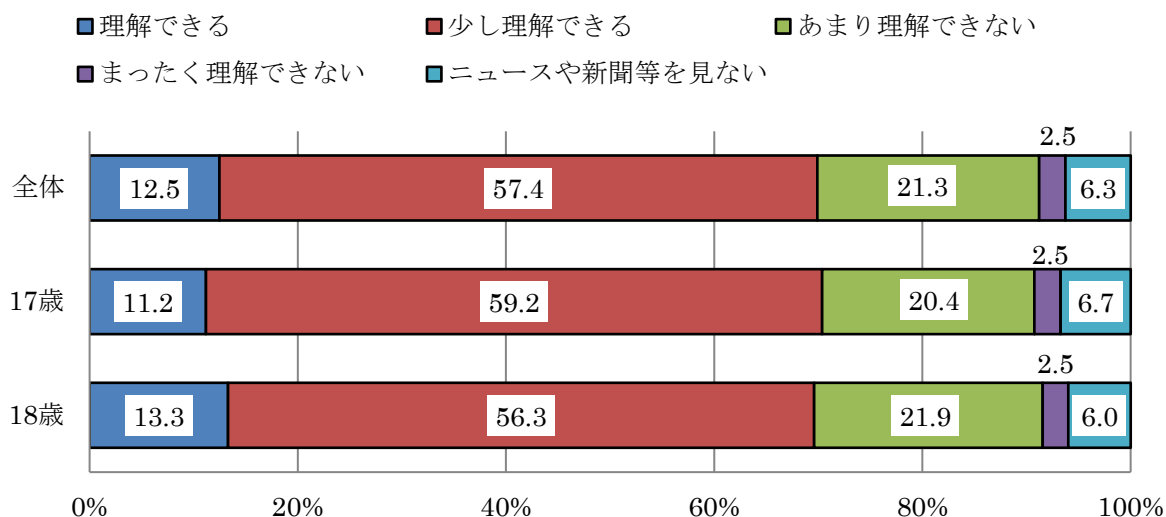


**問20** ニュースや新聞等を通じて、政治や社会問題が理解できていますか。(単一回答)  
【高校生・大学生共通】

(1) 高校3年生

全体で「理解できる(できる+少し)」と回答した人は69.9%、「理解できない(あまり+まったく)」と回答した人は23.8%となった。

ニュースや新聞等を通じて、政治や社会問題が理解できていますか。(単一回答)



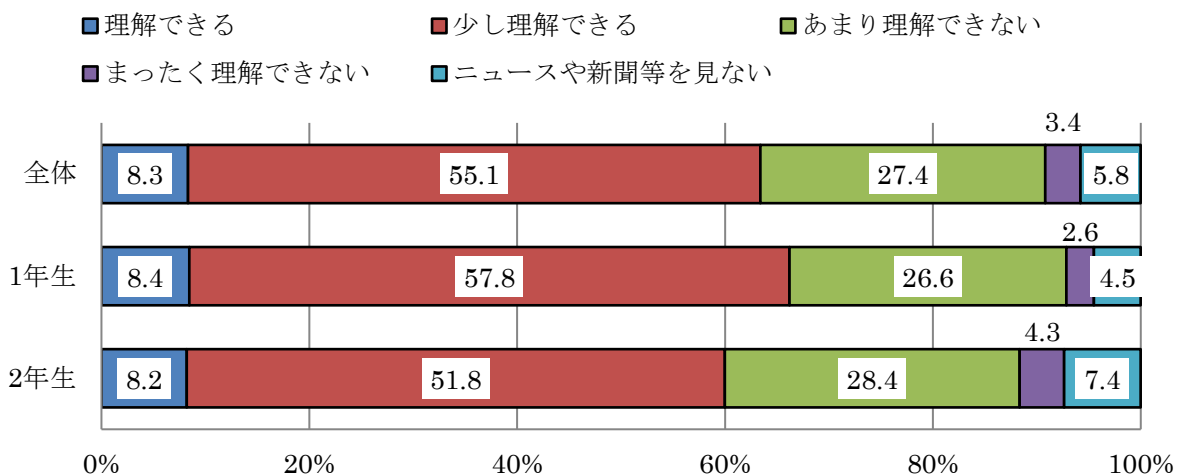
(2) 大学・短大1、2年生

全体で「理解できる(できる+少し)」と回答した人は63.4%、「理解できない(あまり+まったく)」と回答した人は30.8%となった。

学年別、出身地別で項目ごとに大きな違いはみられない。

ア 学年別

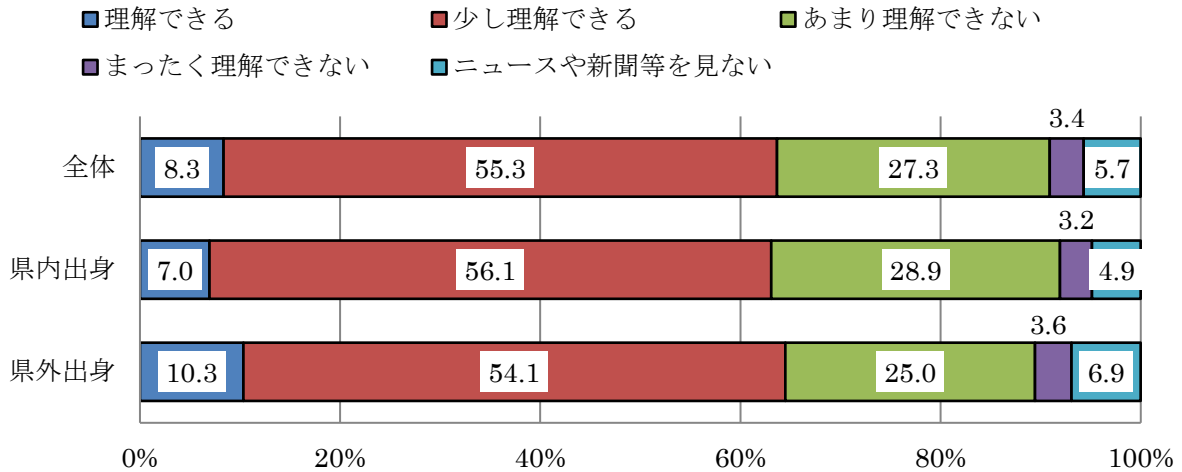
ニュースや新聞等を通じて、政治や社会問題が理解できていますか。(単一回答)





## イ 出身地別

ニュースや新聞等を通じて、政治や社会問題が理解できていますか。(単一回答)



問 2 1 政治や政策について家族や友人と話すことはありますか。(単一回答)

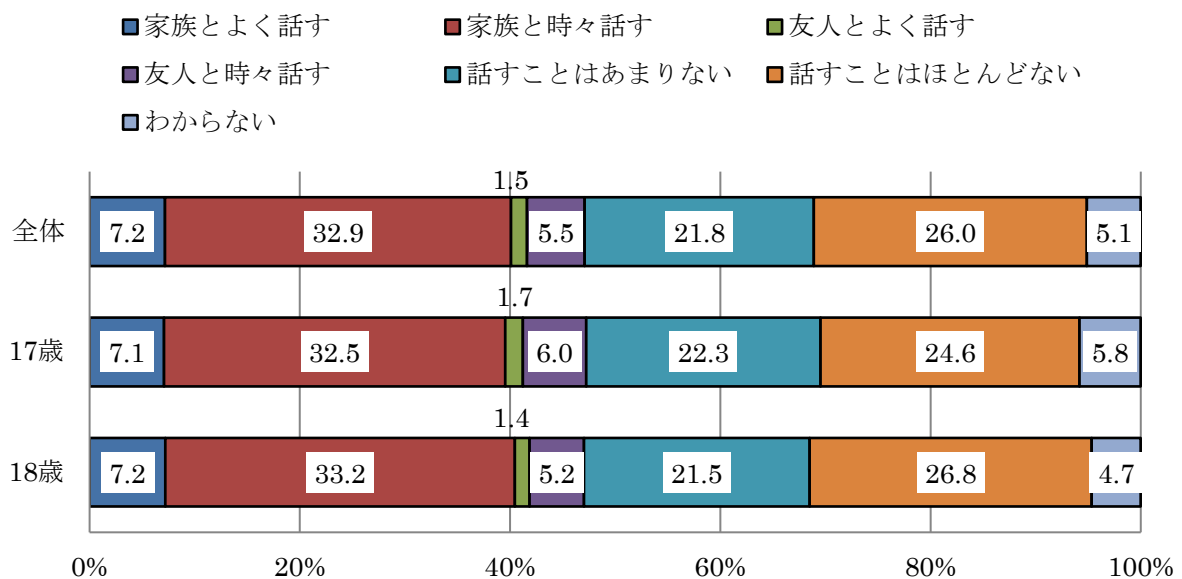
【高校生・大学生共通】

### (1) 高校3年生

周囲の人と政治の話をする事については、「ある」は 47.1% (「家族とよく話す 7.2%」、  
「家族と時々話す 32.9%」、「友人とよく話す 1.5%」、「友人と時々話す 5.5%」の合計) と約  
半数であり、政治の話をする相手は「家族(よく+時々)」が 40.1%で、「友人(よく+時々)」  
の 7.0%を約 33 ポイント上回っている。

周囲の人と政治の話をする事が「ない」は 47.8% (「話すことはあまりない 21.8%」、「話  
すことはほとんどない 26.0%」の合計) で「ある」と拮抗している。

政治や政策について家族や友人と話すことはありますか。(単一回答)



## (2) 大学・短大1、2年生

### ア 全体

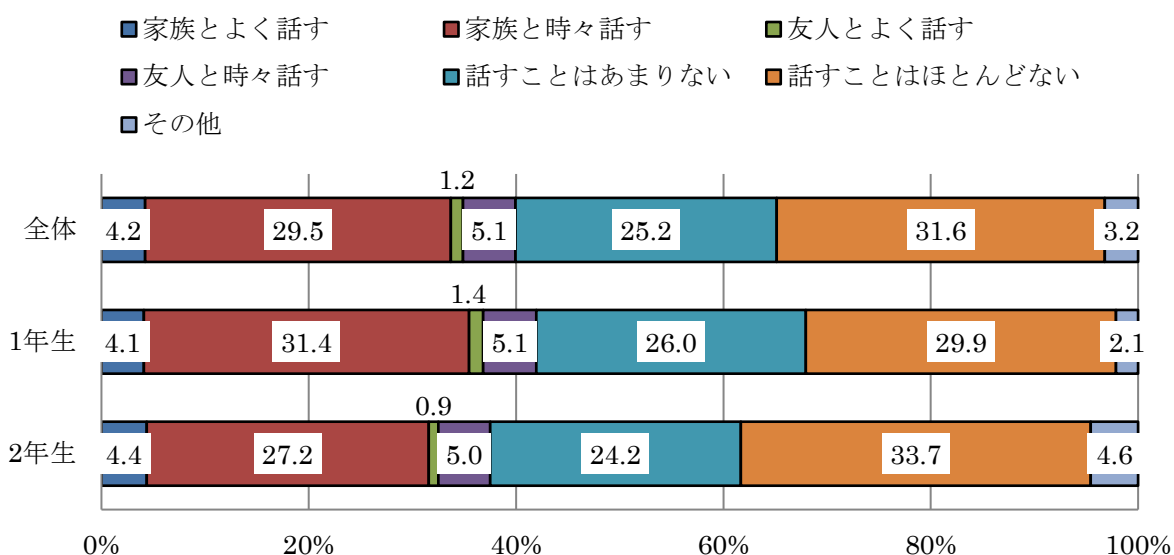
周囲の人と政治の話をするについては、「ある」は40.0%（「家族とよく話す4.2%」、「家族と時々話す29.5%」、「友人とよく話す1.2%」、「友人と時々話す5.1%」の合計）であり、政治の話をする相手は「家族（よく+時々）」が33.7%で、「友人（よく+時々）」の6.3%を約27ポイント上回っている。

周囲の人と政治の話をするのが「ない」は56.8%（「話すことはあまりない25.2%」、「話すことはほとんどない31.6%」の合計）で半数を超えている。

### イ 学年別

周囲の人と政治の話をするのが「ある」は1年生で42.0%、2年生で37.5%であり、1年生の方がやや高い。周囲の人と政治の話をするのが「ない」は1年生で55.9%、2年生で57.9%であり違いはほとんどみられない。

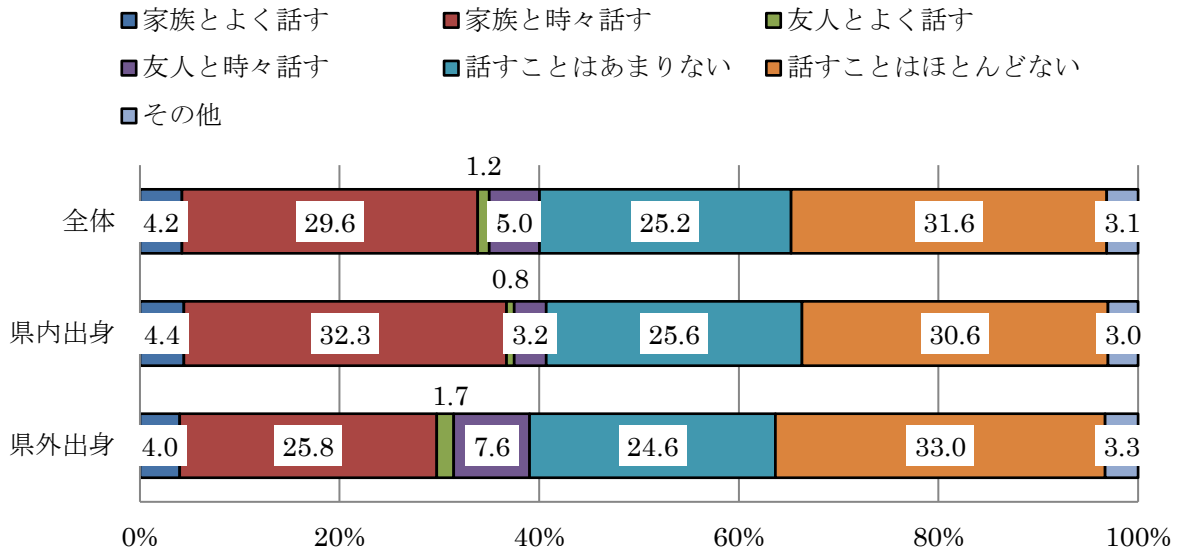
政治や政策について家族や友人と話すことはありますか。(単一回答)



### ウ 出身地別

周囲の人と政治の話をするのが「ある」は県内出身で40.7%、県外出身で39.1%であり、周囲の人と政治の話をするのが「ない」は県内出身で56.2%、県外出身で57.6%であり、いずれも違いはほとんどみられない。

政治や政策について家族や友人と話すことはありますか。(単一回答)

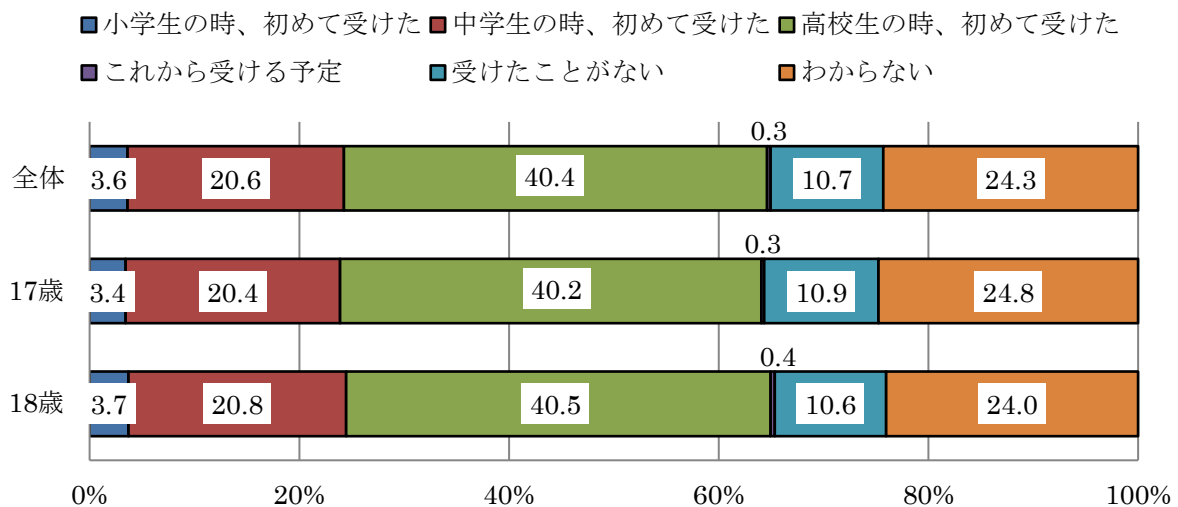


**問 2 2** あなたは今までに選挙に関する授業や選挙出前講座（出前塾）を受けたことがありますか。また、受けたことがある場合、初めて受けたのはいつですか。(単一回答)  
【高校生・大学生共通】

(1) 高校3年生

今までに選挙に関する授業や選挙出前講座（出前塾）を受けたことがあるか聞いたところ、受けたことが「ある」は全体の64.6%（「小学生の時、初めて受けた3.6%」、「中学生の時、初めて受けた20.6%」、「高校生の時、初めて受けた40.4%」の合計）と半数を超えており、出前講座（出前塾）を初めて受けたのは「高校生の時」が40.4%で最も高い。「受けたことがない」は10.7%、「わからない」は24.3%であった。

あなたは今までに選挙に関する授業や選挙出前講座（出前塾）を受けたことがありますか。また、受けたことがある場合、初めて受けたのはいつですか。(単一回答)



## (2) 大学・短大1、2年生

### ア 全体

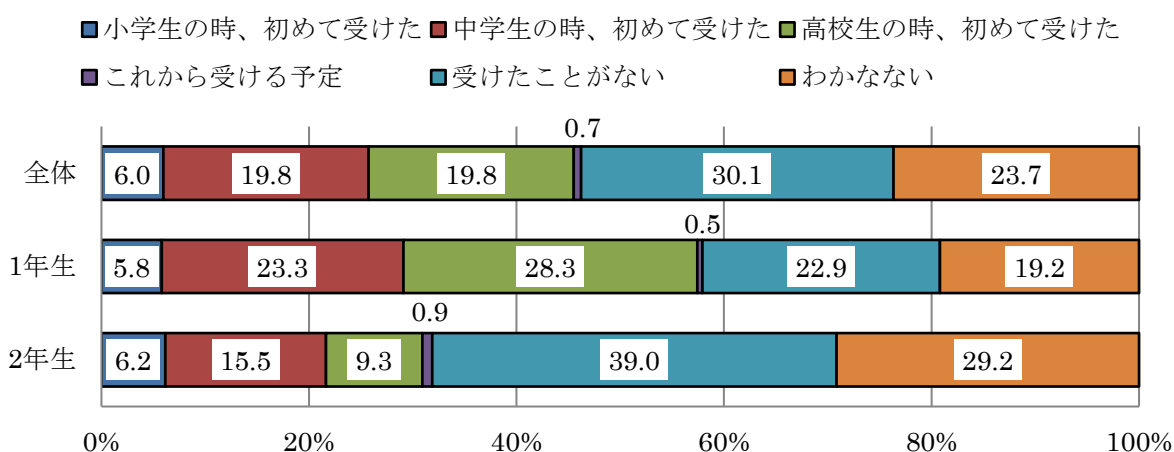
今までに選挙に関する授業や選挙出前講座（出前塾）を受けたことがあるか聞いたところ、受けたことが「ある」は全体の45.6%（「小学生の時、初めて受けた6.0%」、「中学生の時、初めて受けた19.8%」、「高校生の時、初めて受けた19.8%」の合計）と半数に満たず、出前講座（出前塾）を初めて受けたのは「中学生の時」と「高校生の時」がともに19.8%で最も高い。「受けたことがない」は30.1%、「わからない」は23.7%であった。

### イ 学年別

学年別では、1年生で受けたことが「ある」が57.4%であるのに対し、2年生では受けたことが「ある」が31.0%と約26ポイント低くなる。初めて受けたのは1年生が「高校生の時」が28.3%で最も高く、2年生では「中学生の時」が15.5%で最も高くなる。

「受けたことがない」は1年生では22.9%であるの対し、2年生では39.0%と約16ポイント高くなる。

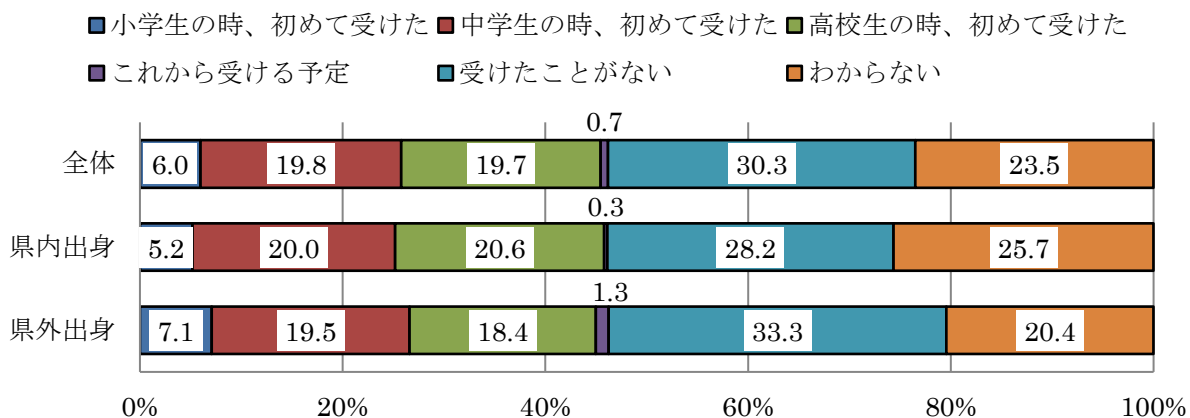
あなたは今までに選挙に関する授業や選挙出前講座（出前塾）を受けたことがありますか。また、受けたことがある場合、初めて受けたのはいつですか。（単一回答）



### ウ 出身地別

出身地別で項目ごとに大きな違いはみられない。

あなたは今までに選挙に関する授業や選挙出前講座（出前塾）を受けたことがありますか。また、受けたことがある場合、初めて受けたのはいつですか。（単一回答）



**問23** 投票先を決める際に、どれを参考にしました（しよう）と思いますか。

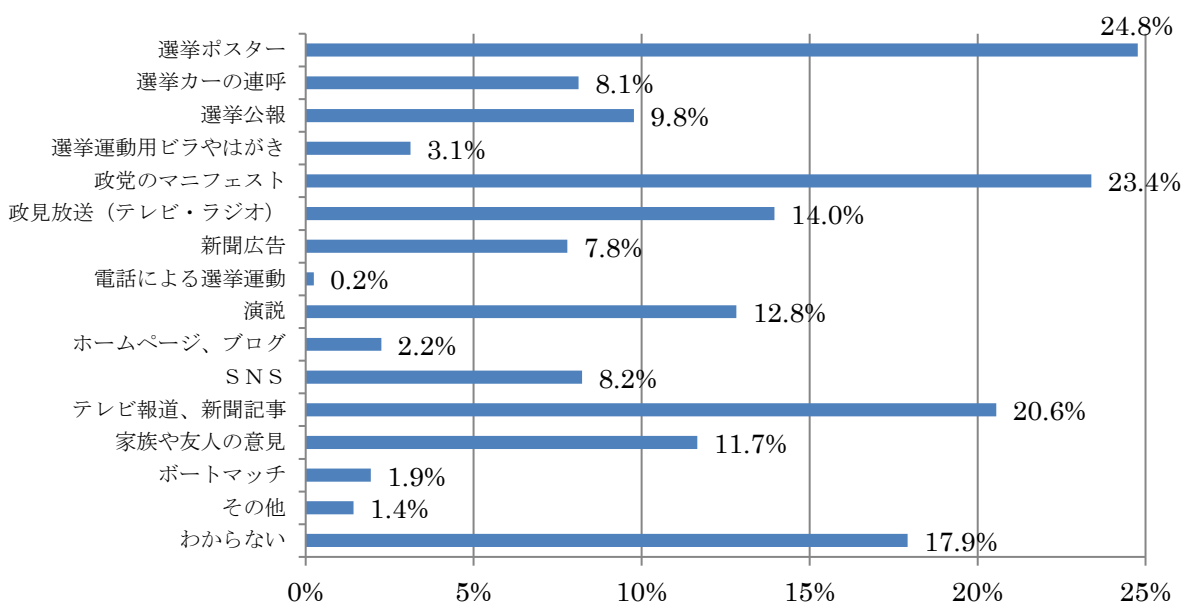
（複数回答：3つ以内）【高校生・大学生共通】

（1）高校3年生

調査者全員に、投票先を決める際に、どれを参考にしたか（しようと思うか）聞いたところ、回答はやや分散したものの「選挙ポスター」の選択率が24.8%と最も多かった。次いで「政党のマニフェスト」（23.4%）、「テレビ報道、新聞記事」（20.6%）となった。

①選挙ポスター	24.8%
②政党のマニフェスト	23.4%
③テレビ報道、新聞記事	20.6%
④わからない	17.9%
⑤政見放送（テレビ・ラジオ）	14.0%
⑥演説	12.8%
⑦家族や友人の意見	11.7%
⑧選挙公報	9.8%
⑨SNS（ツイッター、フェイスブック、LINEなど）	8.2%
⑩選挙カーの連呼	8.1%
⑪新聞広告	7.8%
⑫選挙運動用ビラやはがき	3.1%
⑬ホームページ、ブログ	2.2%
⑭ポートマッチ	1.9%
⑮その他	1.4%
⑯電話による選挙運動	0.2%

投票先を決める際に、どれを参考にしました（しよう）と思いますか。（複数回答：3つ以内）



## (2) 大学・短大1、2年生

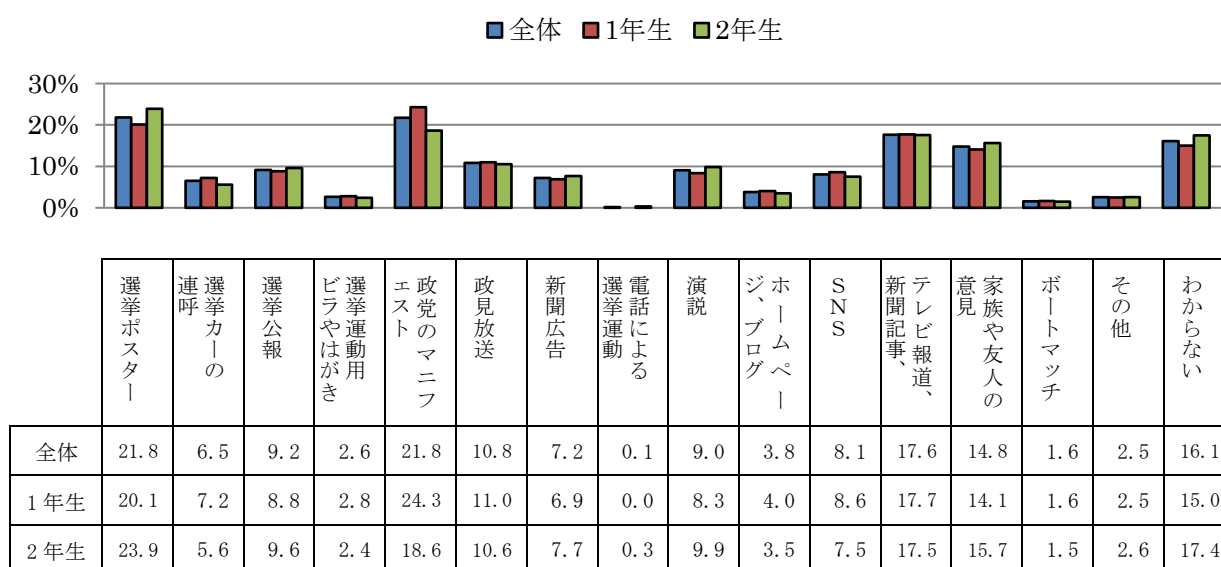
### ア 全体

調査者全員に、投票先を決める際に、どれを参考にしたか（しようと思うか）聞いたところ、回答はやや分散したものの「選挙ポスター」、「政党のマニフェスト」の選択率がともに21.8%と同率で最も多かった。次いで「テレビ報道、新聞記事」（17.6%）、「家族や友人の意見」（14.8%）となった。

### イ 学年別

学年別では1年生が「政党のマニフェスト」（24.3%）の選択率が最も高く、2年生では「選挙ポスター」（23.9%）の選択率が最も高い。

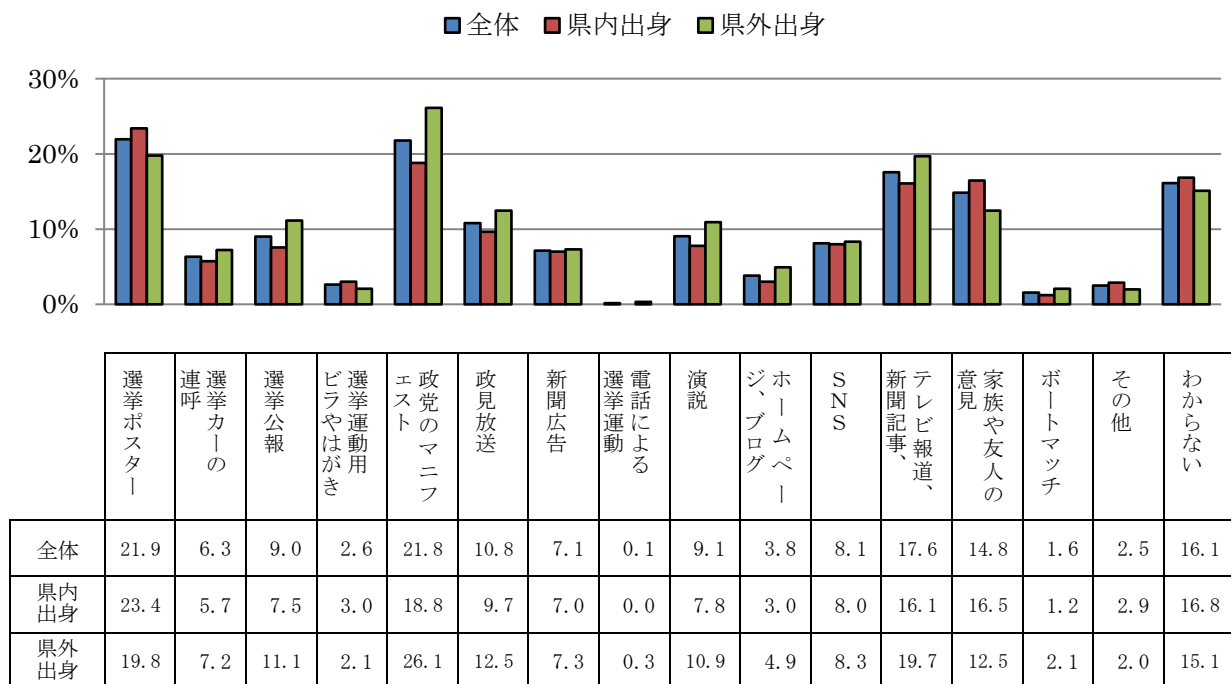
投票先を決める際に、どれを参考にしました（しよう）と思いますか。（複数回答：3つ以内）



### ウ 出身地別

出身地別では県内出身が「選挙ポスター」（23.4%）の選択率が最も高く、県外出身では「政党のマニフェスト」（26.1%）の選択率が最も高い。

投票先を決める際に、どれを参考にしました（しよう）と思いますか。（複数回答：3つ以内）



**問 2 4** 投票先を決める際に、重視することはなんですか。（複数回答：3つ以内）

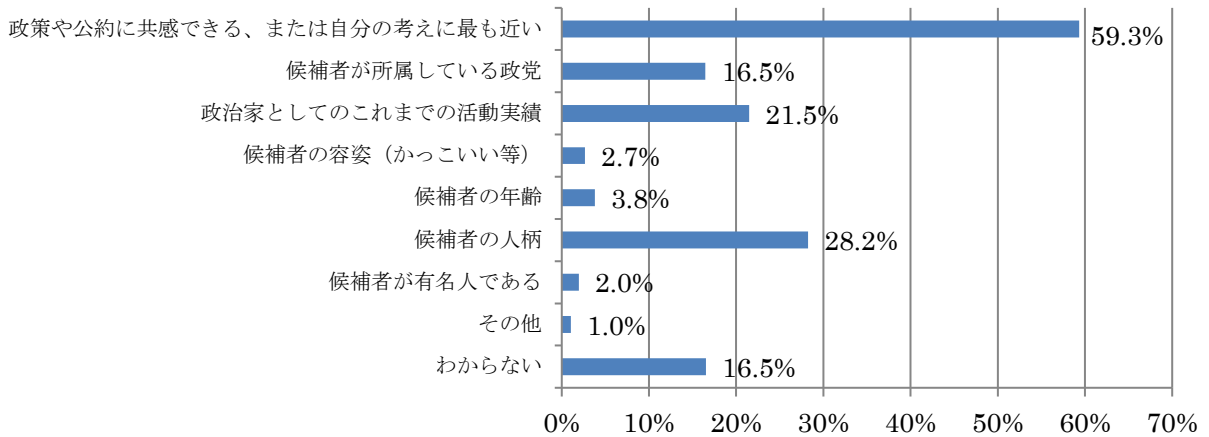
【高校生・大学生共通】

(1) 高校3年生

調査者全員に、投票先を決める際に、重視することを聞いたところ、「政策や公約に共感できる、または自分の考えに最も近い」の選択率が59.3%と最も多かった。次いで「候補者の人柄」(28.2%)、「政治家としてのこれまでの活動実績」(21.5%)となった。

- |                            |       |
|----------------------------|-------|
| ①政策や公約に共感できる、または自分の考えに最も近い | 59.3% |
| ②候補者の人柄                    | 28.2% |
| ③政治家としてのこれまでの活動実績          | 21.5% |
| ④わからない                     | 16.5% |
| ⑤候補者が所属している政党              | 16.5% |
| ⑥候補者の年齢                    | 3.8%  |
| ⑦候補者の容姿（カッコいい等）            | 2.7%  |
| ⑧候補者が有名人である                | 2.0%  |
| ⑨その他                       | 1.0%  |

投票先を決める際に、重視することはなんですか。(複数回答：3つ以内)



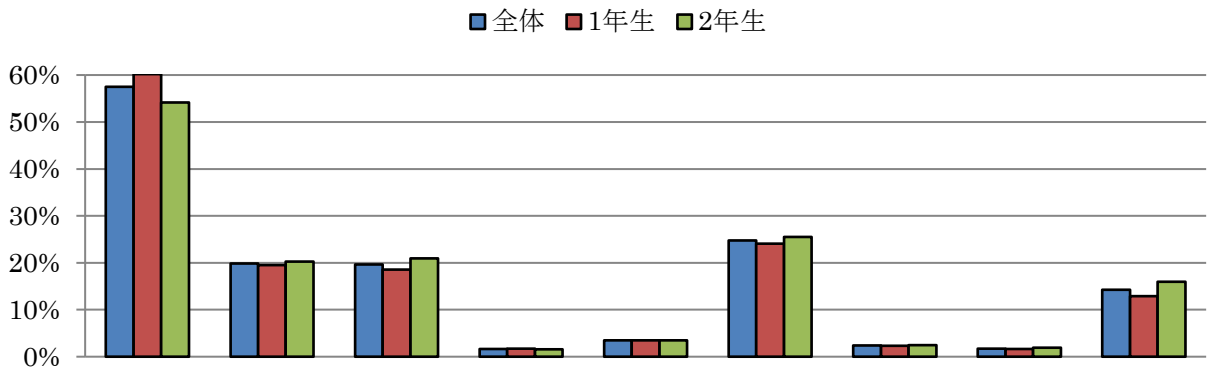
(2) 大学・短大1、2年生

投票先を決める際に、重視することは、高校3年生と同じく「政策や公約に共感できる、または自分の考えに最も近い」の選択率が57.5%と最も多かった。次いで「候補者の人柄」(24.8%)、「候補者が所属している政党」(19.8%)となった。

学年別、出身地別で項目ごとに大きな違いはみられない。

ア 学年別

投票先を決める際に、重視することはなんですか。(複数回答：3つ以内)

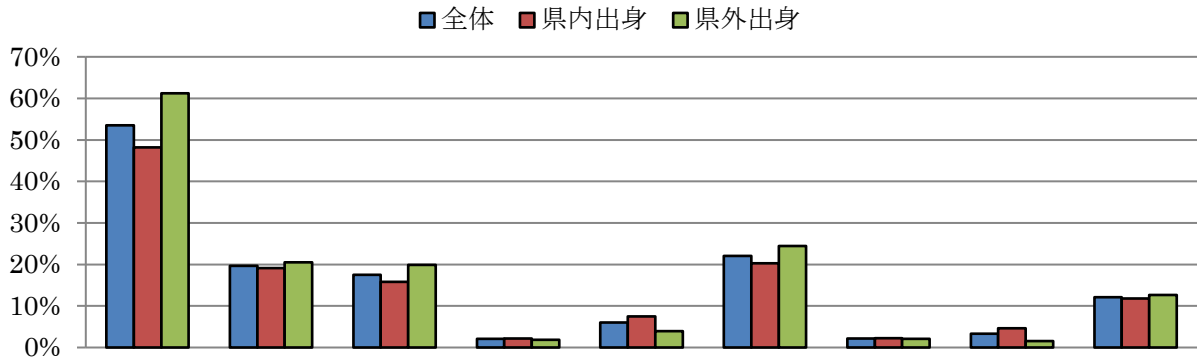


	政策や公約に共感できる、または自分の考えに最も近い	候補者が所属している政党	政治家としてのこれまでの活動実績	候補者の容姿 (かっこいい等)	候補者の容姿 (かっこいい等) 年齢	候補者の人柄	候補者が有名人である	その他	わからない
全体	57.5	19.8	19.6	1.7	3.5	24.8	2.4	1.7	14.3
1年生	60.2	19.5	18.5	1.7	3.5	24.1	2.3	1.6	12.9
2年生	54.1	20.2	20.9	1.6	3.5	25.5	2.5	1.9	16.0



## イ 出身地別

投票先を決める際に、重視することはなんですか。(複数回答：3つ以内)



	政策や公約に共感できる、または自分の考えに最も近い	候補者が所属している政党	政治家としてのこれまでの活動実績	候補者の容姿(かっこいい等)	候補者の容姿(かっこいい等)年齢	候補者の人柄	候補者が有名人である	その他	わからない
全体	53.5	19.7	17.5	2.1	6.0	22.0	2.2	3.4	12.1
県内出身	48.2	19.1	15.8	2.2	7.5	20.3	2.3	4.6	11.8
県外出身	61.2	20.5	19.9	1.9	3.9	24.5	2.1	1.5	12.7

**問25** 高校生や大学生、短大生が政治や選挙に関心を持つためには、何をすればよいと思いますか。(複数回答)【高校生・大学生共通】

### (1) 高校3年生

#### ア 全体

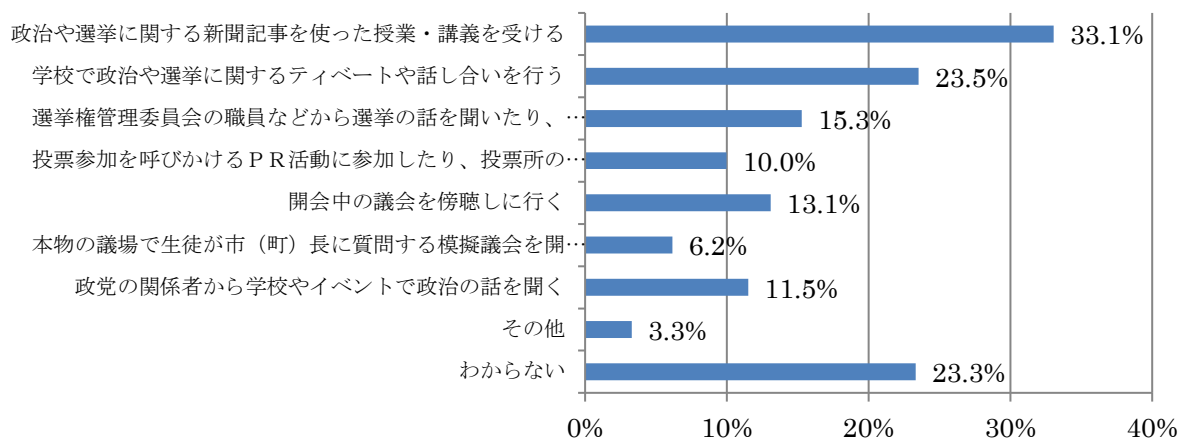
調査者全員に高校生が政治や選挙に関心を持つために何をすればよいと思うか聞いたところ「政治や選挙に関する新聞記事を使った授業・講義を受ける」の選択率が33.1%で最も多かった。次いで「学校で政治や選挙に関するティベートや話し合いを行う」(23.5%)、「わからない」(23.3%)となった。

前回調査でも「学校で政治や選挙に関する新聞記事を使った授業を受ける」の選択率が33.5%と最も多かった。

- |                                     |       |
|-------------------------------------|-------|
| ①政治や選挙に関する新聞記事を使った授業・講義を受ける         | 33.1% |
| ②学校で政治や選挙に関するティベートや話し合いを行う          | 23.5% |
| ③わからない                              | 23.3% |
| ④選挙権管理委員会の職員などから選挙の話を聞いたり、模擬投票を体験する | 15.3% |
| ⑤開会中の議会を傍聴しに行く                      | 13.1% |
| ⑥政党の関係者から学校やイベントで政治の話を聞く            | 11.5% |
| ⑦投票参加を呼びかけるPR活動に参加したり、投票所の案内などを体験する | 10.0% |

- ⑧本物の議場で生徒が市(町)長に質問する模擬議会を開催する 6.2%
- ⑨その他 3.3%

**高校生や大学生等が政治や選挙に関心を持つためには、何をすればよいと思いますか。(複数回答)**



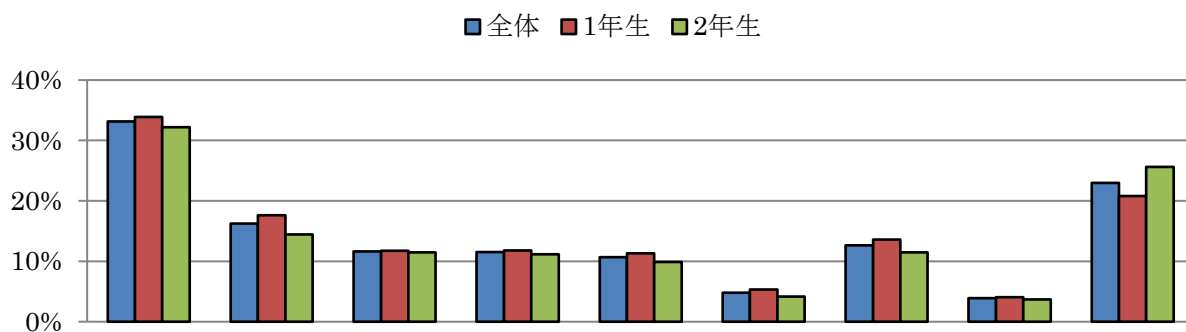
**(2) 大学・短大1、2年生**

調査者全員に大学生や短大生が政治や選挙に関心を持つために何をすればよいと思うか聞いたところ「政治や選挙に関する新聞記事を使った授業・講義を受ける」の選択率が33.2%で最も多かった。次いで「わからない」(23.0%)、「学校で政治や選挙に関するディベートや話し合いを行う」(16.2%)、となった。

学年別、出身地別で項目ごとに大きな違いはみられない。

**ア 学年別**

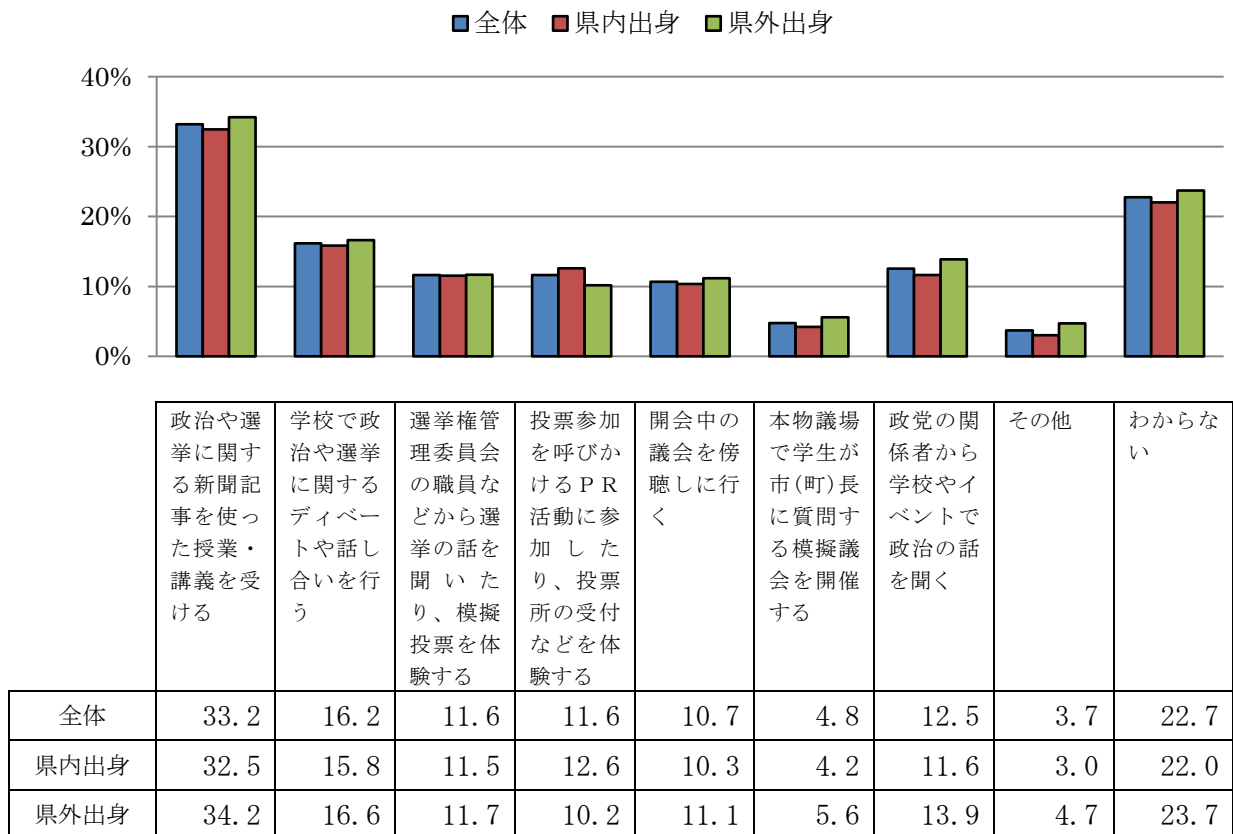
**高校生や大学生等が政治や選挙に関心を持つためには、何をすればよいと思いますか。(複数回答)**



	政治や選挙に関する新聞記事を使った授業・講義を受ける	学校で政治や選挙に関するディベートや話し合いを行う	選挙権管理委員会の職員などから選挙の話の聞いたり、模擬投票を体験する	投票参加を呼びかけるPR活動に参加したり、投票所の受付などを体験する	開会中の議会を傍聴しに行く	本物議場で学生が市(町)長に質問する模擬議会を開催する	政党の関係者から学校やイベントで政治の話聞く	その他	わからない
全体	33.2	16.2	11.6	11.5	10.7	4.8	12.6	3.9	23.0
1年生	33.9	17.6	11.7	11.8	11.3	5.3	13.6	4.0	20.8
2年生	32.2	14.5	11.5	11.2	9.9	4.2	11.5	3.7	25.6

## イ 出身地別

高校生や大学生等が政治や選挙に関心を持つためには、何をすればよいと思いますか。(複数回答)



**問26** 参議院選挙で投票を呼びかけるため、選挙管理委員会等が行った次のPR活動のうち、あなたの印象に残っているものはどれですか。(複数回答)【高校生・大学生共通】

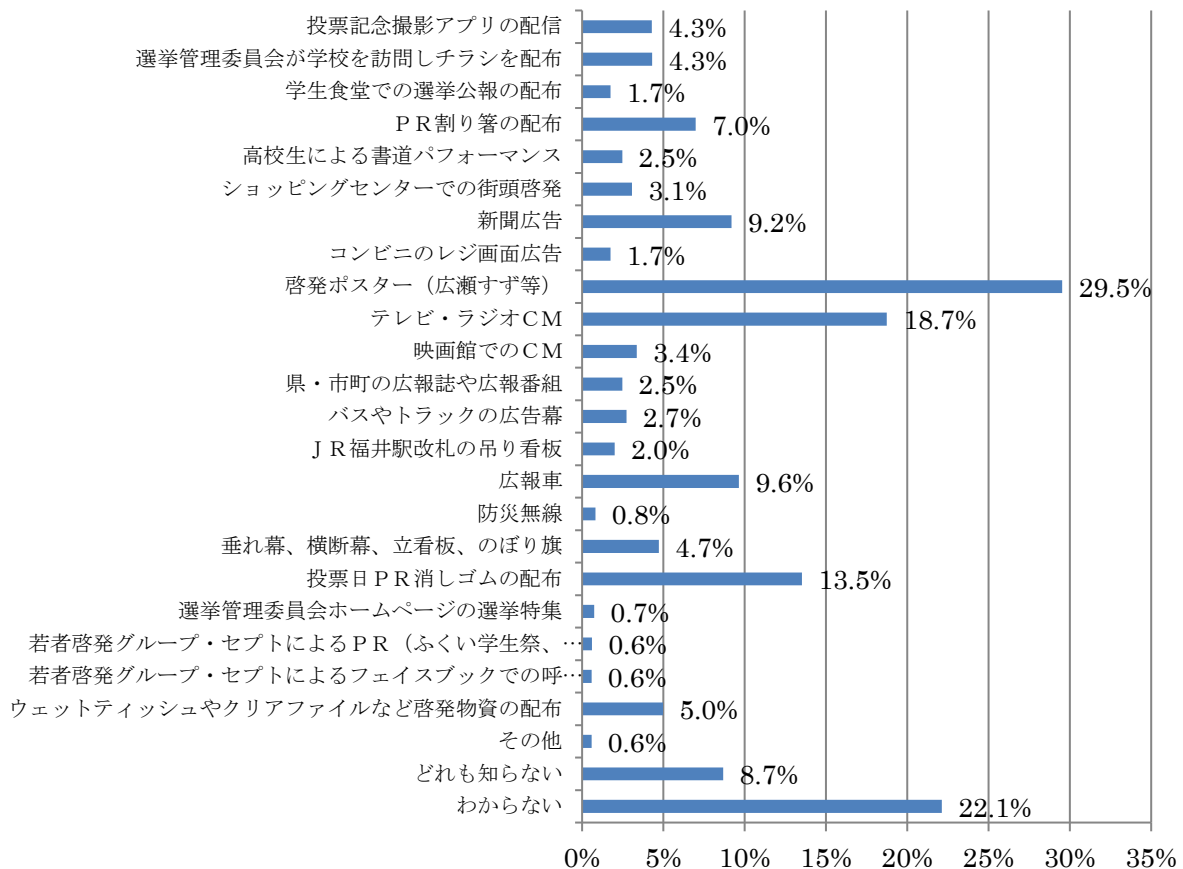
### (1) 高校3年生

今回の参議院選挙で投票を呼びかけるため、選挙管理委員会等が行ったPR活動のうち、印象に残っている活動を高い順に列挙すると以下のとおりで、「啓発ポスター(広瀬すず等)」(29.5%)の選択率が最も多い。次いで「わからない」(22.1%)、「テレビ・ラジオCM」(18.7%)、「投票日PR消しゴムの配布」(13.5%)となった。

①啓発ポスター(広瀬すず等)	29.5%
②わからない	22.1%
③テレビ・ラジオCM	18.7%
④投票日PR消しゴムの配布	13.5%
⑤広報車	9.6%
⑥新聞広告	9.2%
⑦どれも知らない	8.7%
⑧PR割り箸の配布	7.0%
⑨ウェットティッシュやクリアファイルなど啓発物資の配布	5.0%

⑩垂れ幕、横断幕、立看板、のぼり旗	4.7%
⑪選挙管理委員会が学校を訪問しチラシを配布	4.3%
⑫投票記念撮影アプリの配信	4.3%
⑬映画館でのCM	3.4%
⑭ショッピングセンターでの街頭啓発	3.1%
⑮バスやトラックの広告幕	2.7%
⑯県・市町の広報誌や広報番組	2.5%
⑰高校生による書道パフォーマンス	2.5%
⑱JR福井駅改札の吊り看板	2.0%
⑲コンビニのレジ画面広告	1.7%
⑳学生食堂での選挙公報の配布	1.7%
㉑防災無線	0.8%
㉒選挙管理委員会ホームページの選挙特集	0.7%
㉓若者啓発グループ・セプトによるPR (ふくい学生祭、一日選挙理委員、期日前投票立会人)	0.6%
㉔その他	0.6%
㉕若者啓発グループ・セプトによるフェイスブックでの呼びかけ	0.6%

**参議院選挙で投票を呼びかけるため、選挙管理委員会等が行った次のPR活動のうち、あなたの印象に残っているものはどれですか。(複数回答)**



## (2) 大学・短大1、2年生

全体では「テレビ・ラジオCM」の選択率が21.9%で最も高くなり、次いで「啓発ポスター（広瀬すず等）」（19.3%）、「わからない」（16.5%）、「広報車」（12.1%）となった。

	全体	1年生	2年生
①テレビ・ラジオCM	21.9	22.1	21.6
②啓発ポスター（広瀬すず等）	19.3	21.8	16.1
③わからない	16.5	13.3	20.4
④広報車	12.1	11.5	12.9
⑤学生食堂での選挙公報の配布	11.9	12.5	11.3
⑥新聞広告	10.7	10.1	11.4
⑦どれも知らない	10.6	11.0	10.1
⑧ウェットティッシュやクリアファイルなど啓発物資の配布	8.0	9.8	5.7
⑨PR割り箸の配布	7.1	6.6	7.8
⑩垂れ幕、横断幕、立看板、のぼり旗	6.7	6.2	7.3
⑪ショッピングセンターでの街頭啓発	5.0	5.2	4.8
⑫バスやトラックの広告幕	4.7	5.0	4.3
⑬選挙管理委員会が学校を訪問しチラシを配布	4.6	5.1	4.1
⑭投票記念撮影アプリの配信	3.4	2.8	4.3
⑮映画館でのCM	2.9	3.2	2.4
⑯県・市町の広報誌や広報番組	2.7	2.3	3.2
⑰コンビニのレジ画面広告	2.5	2.3	2.7
⑱高校生による書道パフォーマンス	2.1	2.3	1.9
⑲JR福井駅改札の吊り看板	1.6	1.2	2.0
⑳若者啓発グループ・セプトによるPR	1.3	1.4	1.2
㉑投票日PR消しゴムの配布	0.8	1.1	0.5
㉒その他	0.7	0.6	0.9
㉓選挙管理委員会ホームページの選挙特集	0.6	0.9	0.2
㉔防災無線	0.5	0.5	0.6
㉕若者啓発グループ・セプトによるフェイスブックでの呼びかけ	0.2	0.2	0.3

### ※ 表記上の注意

- ・本意識調査の集計結果は原則として小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の集計結果は合計が100%を超える場合があります。
- ・高校3年生の19歳、20歳以上の回答者はいずれも10名未満のため、本文中では言及していません。